

平成21年度業績目録
保健学部

臨床薬理学研究室 …… 2	成人・高齢者看護学研究室 …… 13
分析化学・生化学研究室 …… 2	母子看護学・助産学研究室 …… 13
分子生物学的研究室 …… 2	地域看護学研究室 …… 14
解剖学・細胞生物学的研究室 …… 3	精神看護学研究室 …… 16
臨床血液学・生理機能検査学研究室 …… 4	
免疫学研究室 …… 4	臨床生理学・医用応用工学研究室 ……16
臨床微生物学研究室 …… 5	先端臨床工学研究室 …… 17
臨床検査学・臨床化学研究室 …… 6	生理・生体工学研究室 ……18
細胞診断学研究室 …… 6	医用情報工学研究室 …… 19
	血液浄化療法学研究室 …… 19
細胞遺伝学研究室 …… 7	循環器病態生理学研究室 …… 19
環境保健学・人類生態学研究室 …… 7	
公衆衛生学研究室 …… 7	病理学研究室 …… 20
母子保健学研究室 …… 8	運動障害系理学療法学研究室 …… 20
精神保健学研究室 …… 8	神経発達障害系理学療法学研究室 …… 21
健康教育学研究室 …… 10	内部障害系理学療法学研究室 ……22
救急救命学科 救急救命学研究室 …… 11	
神経生理学研究室 …… 12	
医療安全管理学研究室 …… 12	
神経機能制御外科学研究室 …… 13	

臨床薬理学研究室

口演

1. 細田香織, 古田 隆¹, 石井和夫 (¹東京薬大・薬): Plasma and urine profiling of intact isoflavone metabolites. 第24回日本薬物動態学会年会, 京都, 平成21年11月27-29日.
2. 細田香織, 古田 隆¹, 石井和夫 (¹東京薬大・薬): きな粉摂取後のヒト血中及び尿中イソフラボン代謝産物の体内動態. 日本薬学会第130年会, 岡山, 平成22年3月28-30日.

論文

1. Hosoda K, Furuta T¹ & Ishii K (¹ Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences): Simultaneous determination of glucuronic acid and sulfuric acid conjugated metabolites of daidzein and genistein in human plasma by high-performance liquid chromatography. J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci 878: 628-636, 2010.

分析化学・生化学研究室

口演 (学会等)

1. 岡田洋二, 田中薫¹, 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学): ラジカル種に対するアリシンの反応性. 第62回日本酸化ストレス学会学術集会, 福岡, 平成21年6月11-12日.
2. 島幸夫, 手塚敏春: 生化学実習を意義あるものに. 第4回日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 平成21年8月19-21日.
3. 島幸夫: 肥満候補遺伝子 MTMR9、SCG3、FTO 遺伝子多型と健診データとの関連性. 第17回日本未病システム学会学術総会, 大阪, 平成21年10月31日~11月1日.
4. 原論吉¹, 伊藤さやか¹, 野本順子¹, 島幸夫 (¹東医歯大・院保健・分子生命情報解析): NALP3 inflammasome の活性化機構. 第82回日本生化学会大会, 神戸, 平成21年10月21-24日.
5. 岡田洋二, 田中薫¹, 佐藤英助², 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学, ²青森大・薬・分析化学): カプサイシンの抗酸化活性部位に関する研究. 日本薬学会第130年会, 岡山, 平成22年3月28-30日.
6. Sayaka Ito¹, Junko Nomoto¹, Aya Saito¹, Yukio Shima, Yukichi Hara¹. (¹Tokyo Medical and Dental University), CARD8 interacts with Nlrp3 in the absence of ASC. 13TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON LYMPHOCYTE ACTIVATION AND IMMUNE REGULATION, February 5-7, 2010, California.

論文

1. Shigeru TAKAMI¹, Rumi HASEGAWA¹, Yukio SHIMA, Sawa HORIE², Yasuhiko SATO³, Shigeki KOYAMA¹, Kazumasa MOROI¹ and Akiko YAMAKI¹ (1 Laboratory of anatomy and cellular biology, department of Kyorin faculty of health sciences, 2 Laboratory of anatomy and

cellular biology Kyorin graduate school of health sciences, 3 Application & research group, electron optic division, Jeol Ltd.): Analyses of Smooth Endoplasmic Reticulum in Vomeronasal Receptor Cells. 杏林医学会誌 vol.40, 2009, No.3 24-33.

2. Nakanishi K¹, Shima Y. (1 Department of general internal medicine and metabolism, Toranomon hospital, Kawasaki.) : Capture of type 1 diabetes-susceptible HLA DR-DQ haplotypes in Japanese subjects using a tag single nucleotide polymorphism. Diabetes Care. 2010 Jan;33(1):162-4. Epub 2009 Oct 16.
3. 佐藤英助¹, 岡田洋二, 丘島晴雄 (¹青森大・薬・分析化学): 環境と健康 (第57報): 喫茶や飲酒の心拍数変動への効果. 雪国環境研究 16: 61-70, 2010.

分子生物学研究室

口演

1. Gamou S, & McCormick TR¹ (¹Dept. Human. Bioethics, Univ. Washington): The Death with Dignity Act in Washington State, USA. 第68回日本癌学会総会, 横浜, 2009年10月1日.
2. 櫻井伸治¹, 福谷哲¹, 中森泰三², 八島浩¹, 高橋知之¹, 久保田善久³, 蒲生忍, 高橋千太郎¹ (¹京都大・原子炉, ²横浜国大・環境情報研究院, ³放射線医学総合研究所): シマミミズ *Eisenia fetida* (Savigny, 1826) における ¹⁰⁹Cd, ¹³⁴Cs, ⁶⁰Co の経皮吸収率の経時的変化. 日本放射線影響学会第52回大会, 広島, 2009年11月11日.
3. 蒲生忍, McCormick TR¹ (¹Dept. Human. Bioethics, Univ. Washington): 米国における終末期の医療選択: ワシントン州尊厳死法の成立の前後. 第21回日本生命倫理学会年次大会, 横浜, 2009年11月15日.
4. 大竹奈都子, 大内勇人, 相見祐輝, 村田麻喜子, 蒲生忍: 心臓イオンチャネル病遺伝子検査の試み. 第38回杏林医学会総会, 三鷹, 2009年11月21日.
5. 相磯聡子, 村田麻喜子, 蒲生忍: 小分子 non-coding RNA 6H57 のストレス応答における機能の解析. 第11回日本RNA学会年会, 新潟, 平成21年7月27-29日.
6. 相見祐輝, 村田麻喜子, Sturzenbaum SR¹, 蒲生忍 (¹King's College, London): 貧毛類のメタロチオネイン遺伝子のゲノム生物学的解析. 第32回日本分子生物学会年会, 横浜, 平成21年12月12日.
7. 村田麻喜子, 相見祐輝, 鈴木恒平¹, 蒲生忍 (¹STAFF 研究所): BAC ライブラリーを用いた貧毛類ミミズのゲノム中の繰り返し配列解析. 第32回日本分子生物学会年会. 横浜, 平成21年12月12日.
8. 坂上正行¹, 新屋敷康², 宮本麻美子³, 太田力³, 豊田裕夫⁴, 蒲生忍 (¹バイオリジェネエレーション, ²しんやしき産婦人科, ³国立がんセ・研, ⁴東京薬大・薬): ヒト羊膜に由来する多能性幹 (PS) 細胞について: 遺伝子発現パターンと利用可能性. 第32回日本分子生物学会年会, 横浜, 平成21年12月12日.
9. 野崎忠輔¹, 吉野雄大¹, 袁博¹, 坂上正行², 太田力³,

蒲生忍, 武内信¹, 大山邦男¹, 貝瀬利一¹, 豊田裕夫¹ (¹東京薬大・薬, ²バイオオリジェネエーション, ³国立がんセ・研): ヒト卵膜組織由来幹細胞の外的刺激に対する応答. 第32回日本分子生物学会年会, 横浜, 平成21年12月12日.

論文

1. Kim JY, Inaoka T, Hirooka K, Matsuoka H, Murata M, Ohki R, Adachi Y, Fujita Y, & Ochi K: Identification and characterization of a novel multidrug resistance operon, mdtRP (yusOP), of *Bacillus subtilis*. *J Bacteriol* (191): 3273-81, 2009.
2. 下島裕美¹, 蒲生忍 (¹保・精神保健): 医療倫理と教育: 五色カード法による死にゆく過程の疑似体験 (Guided Death Experience). *杏林医学会雑誌* 40(1): 2-7, 2009.

解剖学・細胞生物学研究室

口演

1. 堀江沙和, 長谷川瑠美, 西岡秀夫, 小山茂樹, 諸井和正, 八巻明子, 高見 茂: 鋤鼻器における滑面小胞体の構造解析. 第65回日本顕微鏡学会, 仙台市, 平成21年5月26-29日.
2. 新藤沙記, 堀江沙和, 高見 茂: 鋤鼻感覚上皮頂部の走査電顕による観察. 第65回日本顕微鏡学会, 仙台市, 平成21年5月26-29日.
3. 長谷川瑠美, 高見 茂, 釜澤尚美, 重本隆一: ラット嗅鞘細胞における電位依存型 Na チャネルの免疫局在. 第65回日本顕微鏡学会, 仙台市, 平成21年5月26-29日.
4. 高見 茂: 鋤鼻系機能形態学研究における新展開. 第13回鋤鼻研究会, 熊谷市, 平成21年6月12-14日.
5. 堀江沙和, 高見 茂: Type2 17Beta-hydroxysteroid dehydrogenase の鋤鼻器における分布について. 第13回鋤鼻研究会, 熊谷市, 平成21年6月12-14日.
6. 粕谷佑里香, 高見 茂, 八巻明子: Stk23 の鋤鼻器における免疫局在. 第13回鋤鼻研究会, 熊谷市, 平成21年6月12-14日.
7. 長谷川瑠美, 高見 茂, 釜澤尚美, 重本隆一: 鼻腔化学受容器における電位依存型 Na チャネルの免疫局在. 第13回鋤鼻研究会, 熊谷市, 平成21年6月12-14日.
8. 堀江沙和, 新藤沙記, 高見 茂: フェロモン受容部位の走査電子顕微鏡による観察法. 第43回味と匂学会, 旭川市, 平成21年9月2-4日.
9. 高見 茂, 堀江沙和, 八巻明子, 小山茂樹, 諸井和正, 館野こずえ, 長谷川瑠美: 鼻腔化学受容器におけるステロイド代謝について. 第80回日本動物学会, 静岡市, 平成21年9月17-20日.
10. 堀江沙和, 八巻明子, 館野こずえ, 高見 茂: 鼻腔粘膜におけるステロイド側鎖切断酵素の免疫局在. 第97回日本解剖学会関東支部会, 所沢市 防衛医科大学校, 平成21年10月24日.
11. 粕谷佑里香, 八巻明子, 長谷川瑠美, 高見 茂: セリン/トレオニンキナーゼの鼻腔粘膜における発現. 第97回日本解剖学会関東支部会, 所沢市 防衛医科大学校, 平成21年10月24日.
12. 田村祥子, 堀江沙和, 小山茂樹, 諸井和正, 高見 茂: 鋤鼻受容細胞の軸索終末についての形態学的解析. 第97回日本解剖学会関東支部会, 所沢市 防衛医科大学校, 平成21年10月24日.
13. 松岡優貴, 佐原資謹, 堀江沙和, 高見 茂: 出生後に成長する副嗅球投射ニューロン樹状突起の形態学的解析. 第97回日本解剖学会関東支部会, 所沢市 防衛医科大学校, 平成21年10月24日.
14. 吉田理絵, 堀江沙和, 八巻明子, 長谷川瑠美, 高見 茂: BDNF を過剰発現する幼若ラット嗅粘膜についての解析. 第97回日本解剖学会関東支部会, 所沢市 防衛医科大学校, 平成21年10月24日.
15. 小山和仁, 長谷川瑠美, 八巻明子, 堀江沙和, 高見 茂: BDNF 過剰発現がもたらす嗅上皮内分裂細胞の増加. 第97回日本解剖学会関東支部会, 所沢市 防衛医科大学校, 平成21年10月24日.
16. 粕谷佑里香, 八巻明子, 長谷川瑠美, 高見 茂: VNO60 のラット鼻腔粘膜での発現. 第38回杏林医学会, 杏林大学, 平成21年11月21日.
17. 田村祥子, 小山茂樹, 諸井和正, 堀江沙和, 高見 茂: フェロモン一次中枢についての電子顕微鏡による観察. 第38回杏林医学会, 杏林大学, 平成21年11月21日.
18. 堀江沙和, 八巻明子, 高見 茂: 嗅粘膜における 17βHSD type1 および type2 の免疫局在. 第38回杏林医学会, 杏林大学, 平成21年11月21日.
19. 松岡優貴, 堀江沙和, 高見 茂: フェロモン暗号化一次投射ニューロン樹状突起の生後発達についての形態学的解析. 第38回杏林医学会, 杏林大学, 平成21年11月21日.
20. 小山和仁, 長谷川瑠美, 八巻明子, 堀江沙和, 高見 茂: 脳由来栄養因子が引き起こすと考えられる嗅上皮内分裂細胞数の増加について. 第38回杏林医学会, 杏林大学, 平成21年11月21日.
21. 吉田理絵, 長谷川瑠美, 八巻明子, 堀江沙和, 高見 茂: BDNF を過剰発現する嗅細胞をもつ幼若ラット嗅粘膜についての基礎的解析. 第38回杏林医学会, 杏林大学, 平成21年11月21日.
22. 高見 茂, 館野こずえ, 堀江沙和, 長谷川瑠美: エストロジェン受容体の嗅粘膜における免疫局在. 第34回日本顕微鏡学会関東支部会. 東京, 平成22年3月20日.
23. 堀江沙和, 高見 茂: ラット嗅上皮支持細胞についての微細形態学的解析. 第34回日本顕微鏡学会関東支部会. 東京, 平成22年3月20日.
24. 粕谷佑里香, 八巻明子, 長谷川瑠美, 高見 茂: 鋤鼻器に発現するプロテインキナーゼについて. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡市, 平成22年3月29日.
25. 長谷川瑠美, 吉田理絵, 小山和仁, 八巻明子, 塩田明, 高見 茂: 嗅細胞特異的 BDNF 過剰発現ラットにおける関連分子の発現. 第115回日本解剖学会総

- 会・全国学術集会, 盛岡市, 平成 22 年 3 月 30 日.
26. 堀江沙和, 高見 茂: ラット嗅上皮の支持細胞の形態学および免疫組織化学的特徴. 第 115 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡市, 平成 22 年 3 月 30 日.

論文

1. Takami S, Hasegawa R, Sima Y, Horie S, Sato Y, Koyama S, & Yamaki A: Analyses of Smooth Endoplasmic Reticulum in Vomeronasal Receptor Cells. 杏林医学会誌 40: 24-33, Dec., 2009.
2. 飯島淳子, 堀江沙和, 安井英明, 高見 茂: ラット胃内グルタミン酸シグナリング機構に関わる細胞の形態学的特徴. 日本味と匂学会誌 15: 305-308, 2009
3. 堀江沙和, 新藤沙記, 高見 茂: フェロモン受容部位の走査電子顕微鏡による観察法. 日本味と匂学会誌 15: 529-532, 2009.

臨床血液学・生理機能検査学研究室

口演

1. 司茂幸英: 心電図波形の計測、平成 21 年度基礎から学ぶ生理研修会、東京、平成 21 年 6 月 21 日.
2. 東克巳, 近藤弘¹⁾ (大東文化大学・スポーツ・健康科学部): 形態のベテランに聞く 骨髄標本で見逃してはいけない異形成 (dysplasia) 所見. 第 10 回検査血液学会学術集会, 甲府, 平成 21 年 7 月 4-5 日.
3. 関根名里子, 西村伸大, 東 克巳: 血液形態定量化における形態検査標準化の試み (第 2 報) - 普通染色とその染色性の客観的評価法について -. 第 10 回検査血液学会学術集会. 甲府. 平成 21 年 7 月 4-5 日.
4. 東克巳: 検査標準化と造血器悪性腫瘍診断への貢献 サイトメトリー検査の標準化の現状. 第 56 回日本臨床検査医学会. 札幌. 平成 21 年 8 月 28-30 日.
5. 須藤恵美¹⁾, 岸野智則²⁾, 森井健司³⁾, 平野和彦⁴⁾, 大西宏明²⁾, 大塚弘毅²⁾, 岡崎充宏¹⁾, 大藤弥穂¹⁾, 司茂幸英⁵⁾, 栗原秀一⁶⁾, 恒吉正澄⁶⁾, 藤岡保範⁴⁾, 望月一男³⁾, 渡邊卓²⁾ (臨床検査部¹⁾, 臨床検査医学²⁾, 整形外科³⁾, 病理学⁴⁾, 保健学部臨床検査技術科⁵⁾): 腹壁に発症した骨膜肉腫 - 超音波画像の一例 -, 第 56 回日本検査医学会、札幌、平成 21 年 8 月 28 日.
6. 小針紫保子¹⁾, 西村伸大, 丹羽健¹⁾ (山野短大美容芸術学科): グレープフルーツの芳香浴の負荷作業に対する生理的影響. 第 68 回日本公衆衛生学会総会. 奈良. 平成 21 年 10 月 21-23 日.

論文

1. 東克巳: 臨床検査 Yearbook 2009 血液検査編 赤血球 赤血球形態による貧血の分類. 臨床病理レビュー 142 号 P32-37. 2009.
2. 高本滋¹⁾, 鶴澤正仁¹⁾, 中内啓光²⁾, 中原一彦³⁾, 東克巳, 藤川孝三郎⁴⁾, 村上知之⁵⁾, 渡辺卓¹⁾ (愛知医科大学・医,²⁾ 東京大学医科学研究所,³⁾ 独立行政法人大学評価・学位授与機構,⁴⁾ 金沢医科大学,⁵⁾ 国立病院機構関門医療センター,⁶⁾ 杏林大・医): 悪性腫瘍と DNA aneuploidy DA 研究の過去と未来 FCM による DNA Aneuploidy 検

- 索のガイドライン. 日本サイトメトリー学会標準化委員会 Cytometry Research 19 (1): 1-9. 2009.
3. 西村伸大, 丹羽健¹⁾ (山野美容芸術短期大学): ネロリの香りの精神的ストレス負荷に及ぼす影響. *aromatopia* 95:12-14.2009.
 4. 東克巳: 顕微鏡検査のコツ 臨床に役立つ形態学 血液像 標本の作製と保存 骨髄検体の採取と標本作製. 検査と技術 37 (10): 1068-1070. 2009.
 5. Yasuhisa Y¹⁾-³⁾, Takahiro S¹⁾,²⁾,⁴⁾, Mamiko S-Y¹⁾-³⁾, Keiki K¹⁾,²⁾, Katsumi H, Tsuyoshi T⁴⁾, Mineo K²⁾, Seishi O¹⁾,⁴⁾,⁶⁾ and Shigeru C¹⁾,³⁾ (¹⁾ Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, University of Tokyo Hospital, ²⁾ Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, ³⁾ Department of Clinical and Experimental Hematology, University of Tsuba, Ibaraki; ⁴⁾ Department of Tissue Engineering, University of Tokyo Hospital and ⁶⁾ The 21st Century COE Program, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Tokyo, Japan): Derivation of functional mature neutrophils from human embryonic stem cells. *BLOOD* 113 (26): 25. 2009

その他

1. 司茂幸英 (実技講師): 平成 21 年度基礎から学ぶ生理研修会, 東京, 平成 21 年 6 月 21 日.
2. 司茂幸英 (資格認定試験委員): 緊急試験生理機能検査, 東京, 平成 21 年 7 月 19 日
3. 司茂幸英 (司会): 第 58 回日本医学検査学会, 横浜, 平成 21 年 7 月 19 日.

免疫学研究室

口演

- 1) 蔵田 訓¹⁾, 田口晴彦、大崎敬子¹⁾, 佐藤万里絵²⁾, 高橋志達²⁾, 神谷 茂¹⁾ (杏林大学医学部感染症学講座、²⁾ ミヤリサン製薬株式会社): *Mycoplasma pneumoniae* 抗原刺激がナイーブ T 細胞サブセットに及ぼす影響. 第 83 回日本感染症学会総会. 東京. 平成 21 年 4 月 23 日 ~ 24 日.
- 2) 小野川 傑、田口晴彦: 好中球活性化における IL-6 シグナルの役割. 第 83 回日本感染症学会総会. 東京. 平成 21 年 4 月 23 日 ~ 24 日.
- 3) 田口晴彦: マイコプラズマ肺炎発症メカニズムにおける宿主免疫応答の役割. ワックスマン財団平成 20 年度学術奨励研究成果発表会. 東京. 平成 21 年 5 月 22 日.
- 4) 田口晴彦、新江 賢、平田雅子、蔵田 訓¹⁾, 神谷 茂¹⁾ (杏林大学医学部感染症学講座): マイコプラズマ肺炎モデルの作成と発症メカニズムの解析. 札幌. 平成 21 年 6 月 4 日 ~ 5 日.
- 5) 大崎敬子¹⁾, 米澤英雄¹⁾, Cynthia Zaman¹⁾, 花輪智子¹⁾, 蔵田 訓¹⁾, 田口晴彦、神谷 茂¹⁾ (杏林大学医学部感染症学講座): *Helicobacter pylori* luxS 変異下部におけるニッケル取り込みと外膜蛋白の

- 構成について. 第15回日本ヘリコバクター学会学術集会. 東京. 平成21年6月25日~26日.
- 6) 小野川 傑、田口晴彦、和田貴子¹、山口芳裕² (¹杏林大学保健学部救急救命学研究室、²杏林大学医学部救急医学教室): 炎症部位への浸潤好中球に対するIL-6シグナルによる機能制御. 第27回日本救急医学会総会・学術集会. 盛岡. 平成21年10月29日~31日.
- 7) 米澤英雄¹、大崎敬子¹、Cynthia Zaman¹、蔵田 訓¹、花輪智子¹、田口晴彦、神谷 茂¹ (¹杏林大学医学部感染症学講座): *Helicobacter pylori* TK1402株バイオフィルム形成が及ぼすウレアーゼ発現機構の解析. 第92回日本細菌学会関東支部総会. 東京. 平成21年11月5日~6日.
- 8) Satoshi Kurata¹, Haruhiko Taguchi, Tsuguo Sasaki², and Shigeru Kamiya¹ (¹Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, ²Pharmaceuticals and Medical Devices Agency): Anti-microbiological and immunological activities of clarithromycin to macrolide resistant *Mycoplasma pneumoniae*. The 4th Academic Congress of Again Organization for Mycoplasma. Taipei. 2-4 November, 2009.
- 9) 田口晴彦、小野川 傑、新江 賢: 宿主免疫応答が発症誘因と考えられるマイコプラズマ肺炎の感染免疫学的研究. 第38回杏林医学会総会. 東京. 平成21年11月21日.
- 10) Tsuyoshi Onogawa, Tatsuo Taki¹, and Haruhiko Taguchi (¹ Department of Microbiology, Kitasato University School of allied Health Sciences): IL-6 trans-signaling modulates functions of infiltrating activated neutrophils through STAT3 activation at inflammatory sites. 第39回日本免疫学会総会・学術集会. 大阪. 平成21年12月2日~4日.
- 11) Ken Arae, Tatsukuni Ohno¹, Susumu Nakae², Haruhiko Taguchi, Hirohisa Saito², and Toshiharu Nakajima³ (¹Department of Allergy and Immunology, National Research Institute for Child Health and Development, ²Frontier Research Initiative, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ³Department of Immunology, Yokohama College of Pharmacy): Cimetidine enhances antigen-specific IgE production and Th2 responses. 第39回日本免疫学会総会・学術集会. 大阪. 平成21年12月2日~4日.
- 12) 田口晴彦: マイコプラズマ・ニューモニエ感染動物モデル. 第1回マイコプラズマ関連疾患研究会. 東京. 平成21年12月12日.
- 13) Haruhiko Taguchi, Satoshi Kurata¹, Masako Hirata, Ken Arae, and Shigeru Kamiya¹ (¹Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine): Establishment of mycoplasmal pneumonia-mouse model and evaluation of antimicrobial activities by the model. The 10th Japan-Korea International Symposium on Microbiology. Yokohama, Japan. 26 March 2010.
- 14) Kentaro Oka¹, Takako Osaki², Tomoko Hanawa², Satoshi Kurata², Timothy Woo², Taki Manzoku¹, Motomichi Takahashi¹, Mamoru Tanaka¹, Haruhiko Taguchi, Takashi Watanabe³, Takashi Inamatsu⁴, and Shigeru Kamiya² (¹Miyarisan Pharmaceutical Co., Ltd., ²Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, ³Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine, ⁴Department of Infectious Diseases, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital): Molecular and microbiological characterization of *Clostridium difficile* isolates. The 10th Japan-Korea International Symposium on Microbiology. Yokohama, Japan. 26 March 2010.
- 15) 蔵田 訓¹、田口晴彦、大崎敬子¹、花輪智子¹、米澤英雄¹、Cynthia Zaman¹、Timothy Woo¹、神谷 茂¹ (¹杏林大学医学部感染症学講座): *Mycoplasma pneumoniae* 抗原感作に伴うTh17細胞および抑制性T細胞の働き. 第83回日本細菌学会総会. 横浜. 平成21年3月27日~29日.

論文

- 1) Sekine H¹, Taguchi H, Watanabe H¹, Kawai S¹, Fujioka Y², Goto Y¹, Kobayashi H¹, and Kamiya S³ (¹Department of 1st Internal Medicine, ²Department of Pathology, and ³Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine): Immunological analysis and pathological examination of gnotobiotic mice monoassociated with *Mycoplasma pneumoniae*. *J Med Microbiol* 58; 697-705, 2009.
- 2) 杉浦秀子¹、金子孝昌²、住田めぐみ¹、小野崎正修²、阪本史衣³、大崎敬子⁴、田口晴彦、神谷茂⁴、武田京子¹ (¹聖路加国際病院臨床検査科、²関東化学株式会社マイクロバイオ部、³聖路加国際病院安全管理科、⁴杏林大学医学部感染症学講座): *Clostridium difficile* toxin A および toxin B 市販検出キットの評価. *感染症誌* 83: 513-518, 2009.
- 3) 田口晴彦、新江 賢、平田雅子、蔵田 訓¹、神谷茂¹ (¹杏林大学医学部感染症学講座): マイコプラズマ肺炎モデルの作成と発症メカニズムの解析. *日本マイコプラズマ学会雑誌* 36: 20-24, 2009.

その他

- 1) Haruhiko Taguchi: Establishment of mycoplasmal pneumonia model using germ-free mice. The Waksman Foundation of Japan INC. Report of Researches in 2008: 13-20, 2009.

臨床微生物学研究室

口演

1. 柴田明佳¹、荻原利彦²、森田耕司、叶一乃¹、半藤厚司¹、河西美代子¹、尾形隆夫¹、石橋里佳¹、岡部紘明¹ (¹東京文化短大・臨床検査、²麻布大・

- 獣医) : 簡便な性格チェックと学習への利用. 第 4 回日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 平成 21 年 8 月 19-21 日.
2. 森田耕司 : チーム医療を視野に入れた感染制御関連カリキュラム. 第 56 回日本臨床検査医学学会学術集会, 札幌, 平成 21 年 8 月 26-29 日.
 3. 森田耕司, 渡辺登, 倉園貴至¹, 岡崎充宏², 松下秀³ (¹ 埼玉衛研・臨床微生物, ² 杏林大病院・臨床検査, ³ 都健康安全研・食品衛生・衛生細菌) : 腸内細菌科主要菌種に見出した bla_{CTX-M-3} プラスミドのレプリコンタイプと構造. 第 92 回日本細菌学会関東支部総会, 東京, 平成 21 年 11 月 5-6 日.
 4. 森田耕司, 渡辺登, 松下秀¹ (¹ 都健康安全研・食品衛生・衛生細菌) : ヒト由来 *Salmonella* serovars のキノロンおよび β-ラクタム系薬耐性関連遺伝子. 第 92 回日本細菌学会関東支部総会, 東京, 平成 21 年 11 月 5-6 日.
 5. 日暮芳己¹, 森田耕司, 三澤慶樹¹, 後藤美江子¹, 森屋恭爾¹, 小池和彦¹ (¹ 東大病院・感染制御) : 腸内細菌科における plasmid-mediated AmpC β-lactamase 遺伝子保有菌の調査. 第 21 回日本臨床微生物学会総会, 東京, 平成 22 年 1 月 30-31 日.
 6. 森田耕司 : 学校教育における臨床微生物学と感染制御—教育現場の問題点, 臨地実習先 (病院検査室) との連携. 第 21 回日本臨床微生物学会総会, 東京, 平成 22 年 1 月 30-31 日.

論文

1. 菰田照子¹, 藤明穂¹, 森田耕司, 坂内久一¹ (¹ 杏林大・保健・臨床検査学) : 女性生殖器系細胞における *Chlamydia trachomatis* の増殖性と薬剤効果測定—Real-time PCR 法を用いた評価—. 医学検査 58 : 2009.

臨床検査学・臨床化学研究室

口演

1. 坂内久一, 菰田照子, 大島俊文¹, 岩田敏², 秋田博伸³, 佐藤吉壮⁴, 本村龍太郎⁵, 砂川慶介⁶ (¹ 明治乳業株式会社, ² 国立病院東京医療センター・小児科, ³ 聖マリアンナ医大横浜市西部病院・小児科, ⁴ 富士重工工業健康保険組合総合太田病院・小児科, ⁵ もとむら産婦人科医院, ⁶ 北里大学北里生命科学研究所・感染症学) : 感染症患者血清の western blot 像のパターン分析—*Chlamydia* 感染症を中心として—. 第 83 回日本感染症学会総会, 東京, 平成 21 年 4 月 23,24 日.
2. 菰田照子, 藤明穂, 森田耕司¹, 坂内久一 (¹ 杏林大・保・臨床微生物学) : 女性生殖器系細胞における *Chlamydia trachomatis* の増殖性と薬剤効果測定. 第 58 回日本医学検査学会, 横浜, 平成 21 年 7 月 31 日.
3. Terpstra BT¹, Lipton JW¹, Collier TJ¹, Muratsubaki H, Levine ND¹, Wohlgenant SL¹, Cole-Strauss AD¹, Paumier KL¹, Gombash SE¹ & Sortwell CE¹ (¹ University of Cincinnati, OH, U.S.A.): Allantoin, not uric acid is response for inosine-mediated

neuroprotection in a rodent model of Parkinson's disease. Neuroscience 2009 (The Society of Neuroscience), Chicago, Oct. 17 - 21, 2009.

4. 坂内久一, 菰田照子, 藤明穂, 大島俊文¹ (¹ 明治乳業株式会社) : 未病検査としての抗 *Chlamydia trachomatis* 抗体測定の意義. 第 16 回日本未病システム学会学術総会, 大阪, 平成 21 年 10 月 31 日.

論文

1. 菰田照子, 藤明穂, 森田耕司¹, 坂内久一 (¹ 杏林大・保・臨床微生物学) : 女性生殖器系細胞における *Chlamydia trachomatis* の増殖性と薬剤効果測定—Real-time PCR 法を用いた評価—. 医学検査 58:1198-1203, 2009.
2. 佐竹薫¹, 若林三津子¹, 清水智意¹, 村椿春博, 榎本慶一郎, 手塚敏春², 村上太三¹, 水野嘉夫³ (¹ 日本鋼管病院京浜保健センター, ² 杏林大・保・生化学, ³ 日本鋼管病院・内科) : メタボリックシンドロームの予知がアディポサイトカインである遊離脂肪酸・アディポネクチンの測定から可能か. 神臨技誌 43: 23-30, 2009.
3. 大橋えり¹, 吉田伸治¹, 大岡龍三², 宮沢博 (¹ 福井大学工学部, ² 東京大学生産技術研究所) : スギ花粉による室内汚染レベル, 室内侵入率および花粉 1 個に対する Cry j 1 量. 日本建築学会環境系論文集 75 205-2011, 2010.

著書

1. Muratsubaki H & Enomoto K: Analytical method of allantoin detection in human sera and the clinical significance of this measurement. Clinical Chemistry Research Editors: Mitchem BH & Sharnham CL (Ed.), New York, NOVA Science Publishers, 2009.

その他

1. 菰田照子: 臨床検査学—尿から得られる情報とは?—. 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 平成 21 年 8 月 24, 31 日.

細胞診断学研究室

口演

1. 飯島淳子, 堀江沙和¹, 安井英明, 高見茂¹ (¹ 杏林大・保・解剖学・細胞生物学) : ラット胃内グルタミン酸シグナリング機構に関わる細胞の形態学的特徴. 日本味と匂学会 第 43 回大会, 北海道, 平成 21 年 9 月 3 日.
2. 飯島淳子, 堀江沙和¹, 八巻明子¹, 安井英明, 高見茂¹ (¹ 杏林大・保・解剖学・細胞生物学) : ラット胃内セロトニンおよびセロトニン 3 型受容体免疫陽性細胞の形態学的特徴について. 日本解剖学会関東支部会 第 97 回学術集会, 所沢市, 平成 21 年 10 月 24 日.

論文

1. 大森嘉彦, 鈴木瞳, 松本裕文, 北澤暁子, 安井英明, 坂本穆彦, 菅間博 : 甲状腺乳頭癌培養細胞の病理生物学的特性. 杏林医学会雑誌 39: 69-78, 2008 年.

- 飯島淳子, 堀江沙和, 安井英明, 高見茂: ラット胃内グルタミン酸シグナリング機構に関わる細胞の形態学的特徴. 日本味と匂学会誌 16巻: 305-308, 2009年.

細胞遺伝学研究室

口演

- 平岡厚, 篠原厚子^{1,2}(¹清泉女子大・人文科学研、²順天堂大・医・衛生): 白金ナノコロイドが配合された水製品の飲用が被験者の体内酸化ストレス及び肝・腎機能に及ぼす影響の検討. 第21回日本微量元素学会学術集会, 東京, 平成22年7月3日.
- 関澤浩一, 高橋洋介¹, 加藤誠久², 岸 邦和(¹大和徳州会病院・検査科, ²杏林大・保健・公衆衛生): ヒト核型分析能習得のための教育コンテンツの作製. 日本人類遺伝学会第54回大会, 東京, 平成21年9月25日.
- 鈴木祥史¹, 須田健二¹, 平岡厚, 村上辰和嘉², 松山幸枝², 南武志², 前田貞亮², 恵良聖一³, 副島昭典¹(¹杏林大・保健・臨床工学, ²前田記念腎研究所, ³岐阜大院・医・分子生理): 電解還元水を添加した透析液を用いたアルブミンの透析とその効果. 第21回腎とフリーラジカル研究会, 岡山, 平成21年9月29日.
- 関澤浩一, 加藤誠久¹, 田辺秀之², 岸 邦和(¹杏林大・保健・公衆衛生, ²総研大・先端科学): 核型分析能習得のための教育コンテンツの作製. 染色体学会第60回年会, 松江, 平成21年11月14日.
- 平岡厚, 篠原厚子^{1,2}(¹清泉女子大・人文科学研、²順天堂大・医・衛生): 「水素水」の飲用がヒト被験者の体内酸化ストレスに及ぼす影響の検討. 第20回生物試料分析学会年次学術集会, 東京, 平成22年3月13日.

論文

- Hiraoka A: Inhibition by aromatic sulfinates of the reactions between orthoquinones formed by the enzymatic oxidation of orthodiphenols and amino acid residues in proteins. Peptide Sci 2008: 141-142, 2009.

著書

- 岸 邦和: 人の生命科学 (第3版), 東京, 医師薬出版, 2009. pp. 103-106, 116-136, 192-202.

その他

- 平岡厚: パーシヴァル・ローエルの「オカルト・ジャパン」について (第12報). 杏林大学研究報告教養部門 27: 141-148, 2010.
- 平岡厚: 「オカルト・ジャパン」の翻訳の進捗状況について. 日本ローエル協会穴水研究集会 2009. 石川県穴水町, 平成21年9月19日.

環境保健学・人類生態学研究室

口演

- 後藤恭一¹, 金子哲也(¹AEIF航空環境研究センター) 音環境を評価するためのストレス尺度の開

発と妥当性の検討, 日本音響学会・騒音振動研究会, 東京, 平成21年6月26日

- 松塚雅博, 石川友美, 関 健介, 金子哲也: Sr及びV量比を用いた富士山水系の湧水プロファイルの検討. 環境科学学会年会, 札幌, 平成21年8月1日
- 関健介, 松塚雅博, 出嶋靖志¹, 後藤恭一², 金子哲也(¹杏林大学外国語学部, ²AEIF航空環境研究センター): 金属加工用切削液劣化に対する有用微生物群の効果に関する研究. 第68回日本公衆衛生学会, 奈良, 平成21年度10月23日

論文

- 後藤恭一¹, 久米美代子², 金子哲也(¹AEIF航空環境研究センター, ²東京女子医科大学看護学部) 女性を対象とした精神的健康質問票(WMHI)の改良について—構造方程式モデリングによる確認的因子分析の適用—, 航空環境研究 14: 40-46, 2010

公衆衛生学研究室

口演

- 照屋浩司, 横島啓子, 太田ひろみ¹, 眞鍋知子, 高安雅嗣, 神津祐子(¹杏林大・保・地域看護): ストレス評価法としての唾液アミラーゼ活性測定の意義について (第2報). 第82回日本産業衛生学会総会, 福岡, 平成21年5月20~22日.
- 横島啓子, 太田ひろみ¹, 眞鍋知子, 照屋浩司(¹杏林大・保・地域看護): ストレス評価法としての唾液アミラーゼ活性測定の意義について (第3報). 第82回日本産業衛生学会総会, 福岡, 平成21年5月20~22日.
- 岡本博照¹, 照屋浩司, 松井知子², 深澤進次¹, 土田幸介¹, 上村隆元¹, 角田透¹(¹杏林大・医・衛生公衛, ²杏林大・保・健康教育): 医師の労働負荷と免疫指標(CD56とNK細胞活性)について: 第4報. 第82回日本産業衛生学会総会, 福岡, 平成21年5月20~22日.
- 照屋浩司, 岩見文博¹, 片桐朝美², 太田ひろみ³, 石野晶子¹, 大嶺智子⁴, 林幹泰², 加藤英世¹(¹杏林大・保・母子保健, ²杏林大・保・精神保健/社会福祉, ³杏林大・健・地域看護, ⁴杏林大・保・健康教育): 幼児における音響的骨評価値と体格および生活習慣との関連について. 第68回日本公衆衛生学会, 奈良, 平成21年10月21~23日.
- 岡本博照¹, 照屋浩司, 深澤進次¹, 大嶺智子², 福田潤², 松井知子², 竹前理映子¹, 土田幸介¹, 上村隆元¹, 角田透¹(¹杏林大・医・衛生公衛, ²杏林大・保・健康教育): M市の中高年者運動相談事業について. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成21年10月21~23日.
- 松井知子¹, 大嶺智子¹, 岡本博照², 深澤進次², 上村隆元², 土田幸介², 竹前理映子², 照屋浩司, 角田透²(¹杏林大・保・健康教育, ²杏林大・医・衛生公衛): 中学校における学校相談体制の構築について—第2報 校内委員会活動から—. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成21年10月21~21日.

7. 土田幸介¹、照屋浩司、岡本博照¹、松井知子²、上村隆元¹、竹前理映子¹、深澤進次¹、角田透¹ (¹杏林大・医・衛生公衛、²杏林大・保・健康教育)：口腔アメニティと健診データの関連について。第68回日本公衆衛生学会総会、奈良、平成21年10月21～23日。
8. 竹前理映子¹、上村隆元¹、岡本博照¹、松井知子²、土田幸介¹、深澤進次¹、照屋浩司、角田透¹ (¹杏林大・医・衛生公衛、²杏林大・保・健康教育)：歯科インプラント治療によるメンタルヘルス(GHQ)と健康効用値(HUI)の変化。第68回日本公衆衛生学会総会、奈良、平成21年10月21～23日。
9. 照屋浩司(公開講演)：新型インフルエンザの疫学。第38回杏林医学会総会、三鷹、平成21年11月21日。
10. 松井知子¹、大嶺智子¹、万年宏美¹、福田潤¹、朝野聡¹、照屋浩司(¹杏林大・保・健康教育)：教職員全員であたる相談機能第1報～有効な教育相談組織の充実を考える～。第56回日本学校保健学会、沖縄、平成21年11月29日。
2. 加藤英世：知的障害児の行動異常とその指導。都立小金井特別支援学校校内研修会。平成21年7月31日。
3. 加藤英世：生徒に対する救急処置(CPRとAED)。八王子市立柵田中学校、平成21年10月7日。
4. 林幹泰、加藤英世：なぜ1型糖尿病患者の社会的障壁は認識されにくいのか—「当事者」の語り・1型糖尿病に関する言説を手がかりに—。日本社会福祉学会。東京。平成21年10月10日。
5. 富士野みゆき、加藤英世：在宅障害児の家族支援の現状と課題—家族への面接調査からの結果—。第68回日本公衆衛生学会総会。平成21年10月21日。奈良。
6. 照屋浩司、岩見文博、片桐朝美、太田ひろみ、石野晶子、大嶺智子、林幹泰、加藤英世：幼児における音響的骨評価値と体格および生活習慣との関連について。第68回日本公衆衛生学会総会。平成21年10月21日。奈良。
7. 岩見文博、加藤英世、石野愛子、万年宏美、高塩彩、阿部千晴、照屋浩司：幼児期における体死亡率の経年変化。第56回日本小児保健学会。平成21年10月30日。大阪。
8. 岩見文博、加藤英世、石野愛子、阿部千晴、万年宏美、片桐朝美、林幹泰、照屋浩司。第56回日本学校保健学会。平成21年12月9日。沖縄。
9. 加藤英世：児童の基本的な生活習慣の支援。神奈川県綾瀬市立中学校保護者対象後援会。平成21年12月11日。綾瀬市。
10. 加藤英世：知的障害児の習癖と生活。都立小金井特別支援学校校内研修会。平成22年1月15日。東京。

論文

1. 照屋浩司、岩見文博¹、片桐朝美²、眞鍋知子、太田ひろみ³、石野晶子¹、大嶺智子⁴、加藤英世¹ (¹杏林大・保・母子保健、²杏林大・保・精神保健/社会福祉、³杏林大・保・地域看護、⁴杏林大・保・健康教育)：幼児における音響的骨評価値と体格および生活習慣との関連について。杏林医学会雑誌40(3)：34-42、2009。

その他

翻訳：

1. 照屋浩司：戦争(自殺といけにえ)。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p1755-1759。
2. 照屋浩司：戦争ストレス(旧ユーゴスラビアにおける)。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p1763-1767。
3. 照屋浩司：戦争捕虜。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p1768-1771。
4. 照屋浩司：ベトナム退役軍人(戦後の経験と健康への転帰)。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p2452-2460。
5. 照屋浩司：ペルシャ湾岸戦争のストレス影響。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p2466-2471。
6. 照屋浩司：老化と副腎皮質因子。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p2795-2798。

母子保健学研究室

口演

1. 加藤英世：高齢者及び障害者の地域福祉の課題と介について。都立特別支援学校教員研修会。東京。平成21年6月28日。

論文

1. 岩見文博、阿部千春、加藤英世、万年宏美、石野晶子、大久保良彦、片桐朝美、林幹泰：幼児における重心動揺量に関する基礎的検討。杏林医学会誌。医学会誌。vol.40NO.2.16-23.16-23。平成21年。
2. 照屋浩司、岩見文博、片桐朝美、眞鍋知子、太田ひろみ、石野晶子、大嶺智子、加藤英世：幼児における音響的骨評価値と体格および生活習慣との関連について。杏林医学会誌。医学会誌。vol.40No.2.34-42。平成21年。

精神保健学研究室

口演

1. 田島治：社会不安障害(SAD)について。富士通システムエンジニアリング社内研修会、東京、平成21年4月24日。
2. 田島治：うつ予防と対応—支えている身近な人たちへ—。調布市こころの健康支援センター主催こころの健康講演会、東京、平成21年6月3日。
3. 田島治：うつ病・不安障害治療におけるσ1受容体アゴニストへの期待。ルボックス講演会、東京、平成21年6月27日。
4. 田島治：今日のうつ病の考え方—いわゆる新型うつ病を含めて—。富山県心の健康センター主催平成21年度自殺予防対策担当者等研修会、富山、平成21年7月10日。
5. 田島治：気分障害の薬物治療。八戸精神科医会講演会、青森、平成21年7月15日。
6. 田島治：新たな視点で抗うつ薬の効果と副作用を

- 考える. 第21回日本外来臨床精神医学会 (JCOP) 研究会, 東京, 平成21年9月6日.
7. 田島治: 自殺の背景にあるうつ病を理解する一関係団体・機関にできること一. 宮崎県高鍋保健所主催平成21年度第1回西都児湯地区自殺対策推進協議会, 宮崎, 平成21年10月6日.
 8. 田島治: かかりつけ医のためのうつ病診断と初期治療. 宮崎県精神保健福祉センター主催自殺対策のための医師研究会, 宮崎, 平成21年10月6日.
 9. 田島治: うつ病の診断・治療について. 府中市薬剤師会学術講演会, 東京, 平成21年10月14日.
 10. 田島治: 抗不安薬, 抗うつ薬の性差を考慮した投与. 第6回ウィメンズメンタルヘルス研究会, 東京, 平成21年10月18日.
 11. 田島治: 今再びうつ病の診断・治療について考える一広がる双極性障害の概念と抗うつ薬を巡る問題. 第12回湘南精神薬理懇話会, 藤沢, 平成21年10月24日.
 12. 田島治: うつ病の診断と治療の最近の動向一糖尿病に伴ううつ病とうつ病治療の新たな視点一. 第23回東北糖尿病教育担当者セミナー. 宮城, 平成21年11月1日.
 13. 田島治: 今再びうつ病の診断・治療について考える一広がる双極性障害の概念と薬物療法を巡る問題一. 第11回多摩精神薬理研究会, 東京, 平成21年11月6日.
 14. 田島治: こころの健康. 杏林大学地域交流委員会主催第3回八王子まちづくりフォーラム, 八王子, 平成21年11月7日.
 15. 田島治: うつ病の予防における薬剤師の役割と精神科医との連携について学ぶ. 国立市保健センター主催休養・こころの健康の講演会, 国立, 平成21年12月12日.
 16. 田島治: 精神障がいとは. みたかボランティアセンター主催平成21年度ボランティア実践講座, 三鷹, 平成22年1月23日.
 17. 田島治: 今再びうつ病の診断・治療について考える. 新規抗うつ剤「ミルタザピン」発売記念学術講演会, 山口, 平成22年2月6日.
 18. 田島治: 抗うつ薬 SSRI に関する勉強会. 日弁連刑事弁護センター情報小委員会第8回会議. 東京, 平成22年2月15日.
 19. 田島治: うつ病の診断と治療の現状と課題. 社会福祉法人巢立ち会主催平成21年度東京都地域の拠点機能支援事業シンポジウム, 三鷹, 平成22年1月23日.
 20. 田島治: 今再びうつ病の診断・治療について考える. 第49回なら精神科診療所懇話会, 奈良, 平成22年2月13日.
 21. 田島治: 社会不安障害の最近の話題. 第4回武蔵野地域精神科診療所研究会, 武蔵野市, 平成22年3月1日.
 22. 田島治: 子育て中の母親の心の健康. 多摩多胎ネット主催第5回ツイズマーケット講演会, 三鷹, 平成22年3月13日.
 23. 田島治: 「うつ病100万人時代」精神科薬物療法の現状と問題点. 足立事務所主催第310回研究会, 東京, 平成22年3月30日.
 24. Shimojima, Y.: Time perspective and autobiographical memory: The effect of being conscious of one's own death on episodic memory. Society for Applied Research in Memory and Cognition, Kyoto Heian Kaikan, September 29th, 2009.
 25. 下島裕美・越智啓太・佐藤浩一: Zimbardo Time Perspective Inventory 日本語版作成の試み. 日本心理学会第73回大会, 同志社大学, 平成21年8月29日.
 26. 下島裕美: ストレス社会を乗り切る工夫を考える. 杏林大学公開講座, 調布市民会館たづくり, 2009年9月12日.
 27. Shimojima, Y.: Age difference of the Japanese version of Zimbardo Time Perspective Inventory (ZTPI) and health behavior. The 8th Tsukuba International Conference on Memory, Tsukuba Kokusai Kaigijou, March 30th, 2010.
 28. 片桐朝美: 社会と健康 - 健やかに生きるためのヒント -. 八王子市学園都市大学いちよう塾・八王子市学園都市センター, 2009年9月3日, 9月10日, 9月17日.
 29. 照屋浩司・岩見文博・片桐朝美・太田ひろみ・石野晶子・大嶺智子・林幹泰・加藤英世: 幼児における音響的骨評価と体格および生活習慣との関連について. 日本公衆衛生学会総会抄録集 68回: p209. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 2009年10月23日.

論文

1. 田島治, 他: SAD 研究会が提唱するわが国における SAD 治療フローコンセンサス・ステイトメント. 臨床精神薬理 12:773-779,2009.
2. 辻敬一郎, 田島治: 抗不安薬・睡眠薬を長期間使ってはいけないのか ベンゾジアゼピン系薬剤. 精神科 14:477-483,2009.
3. 田島治: 新規抗うつ薬の登場とうつ病診断の拡散. 精神神経学雑誌 111:663-668,2009.
4. 辻敬一郎, 田島治: これから期待される不安障害治療薬. 臨床精神薬理 12:1939-1947,2009.
5. 田島治: 双極性障害をどう診立てるか?. 臨床精神薬理 12:2244-2248.
6. 田島治: SSRI 時代における TCA の位置付け. 臨床精神薬理 12:2457-2463,2009.
7. 辻敬一郎, 田島治: 抗不安薬の作用機序. 最新精神医学 14:519-525,2009.
8. 辻敬一郎, 田島治: 高齢者のうつ病の薬物療法. Geriatric Medicine 47:1467-1470,2009.
9. 田島治: 新たな視点で抗うつ薬の効果と副作用を考える. 日本外来臨床精神医学. 東京, 日本外来臨床精神医学会誌 7:71-84, 2009.
10. 辻敬一郎, 田島治: 新しい薬物療法. 内科

105:269-274,2010.

11. 辻敬一郎, 田島治: うつ病薬物治療の処方意図. 調剤と情報 16:272-276,2010.
12. 下島裕美・蒲生忍: 医療倫理と教育(2)ー五色カード法による死に行く過程の疑似体験: Guided Death Experience(GDE) 杏林医学会雑誌 40(1): 2-7, 2009.
13. 萬知子・巖康秀・窪田靖志・下島裕美・Richardson, R. H.・蒲生忍: 米国の緩和医療と終末期選択ーオレゴン健康科学大学 Richardson 博士の講演記録ー. 杏林医学会雑誌 39(3,4):49-60, 2009.
14. 下島裕美: 時間的展望と健康行動-Zimbardo Time Perspective Inventory(ZTPI)-. 杏林大学研究報告 教養部門 27: 43-49, 2010.
15. 岩見文博・阿部千春・加藤英世・万年宏美・石野晶子・大久保良彦・片桐朝美・林幹泰: 幼児における重心動揺量に関する基礎的検討. 杏林医学会雑誌 40(2):16-23, 2009.
16. 照屋浩司・岩見文博・片桐朝美・眞鍋知子・太田ひろみ・石野晶子・大嶺智子・加藤英世: 幼児における音響的骨評価値と体格および生活習慣との関連について. 杏林医学会雑誌 40(3):34-42, 2009.

著書

1. 田島治, 江口重幸監訳, 冬樹純子訳: ヒーリー精神科治療薬ガイド第5版. David Healy 著, 東京, みすず書房, 2009.
2. 田島治: 脳波検査. 精神看護学Ⅱ 第5版. 川野雅資編, 東京, スーヴェルヒロカワ, 2009.p.226.
3. 田島治: 精神疾患と脳. 精神看護学Ⅱ 第5版. 川野雅資編, 東京, スーヴェルヒロカワ, 2009.p.233-255.
4. 田島治: 薬物療法. 精神看護学こころ・からだ・かかわりのプラクティス. 萱間真美, 野田文隆編. 東京, 南江堂, 2010.p.202-217.
5. 田島治: 電気けいれん療法(ECT). 精神看護学こころ・からだ・かかわりのプラクティス. 萱間真美, 野田文隆編. 東京, 南江堂, 2010.p.226-227.
6. 田島治: 断眠療法(双極性障害の治療も含む). 気分障害治療ガイドライン第2版. 精神医学講座担当者会議監修, 上島国利, 樋口輝彦, 野村総一郎編. 東京, 医学書院, 2010.p.147-152.
7. 辻敬一郎, 田島治: 日本の抗うつ薬開発は遅れているー海外との比較ー. 最新うつ病のすべて. 樋口輝彦編, 東京, 医歯薬出版, 2010.p.78-83.
8. 片桐朝美: 医学生のための公衆衛生学増補版 看護師を目指す人のための公衆衛生学. 東京, メイツ出版株式会社, 2010.

健康教育学研究室

口演

1. 松井知子(講演): 新卒新入社員の生活習慣とメンタルヘルス～メンタルヘルスケアの具体的方法～. 東京産業保健推進センター研修セミナー, 東京(東京東京産業保健推進センター), 平成21年5月11日.
2. 岡本博照¹, 照屋浩司², 松井知子, 深澤進次¹, 土田幸介¹, 上村隆元¹, 角田透¹ (¹杏林大・医・

衛生公衆衛生学教室、²杏林大・保・公衆衛生学): 医師の労働負荷と免疫指標(CD56とNK細胞活性)について第4報. 第82回日本産業衛生学会総会, 福岡, 平成21年5月20～22日.

3. Uemura T¹, Furusho S², Ogawa S², Matsui T, Okamoto H¹ & Tsunoda T¹ (¹medical,hygiene² Tokyo Univ. of Agriculture): The Development, application and efficacy evaluation of “Shokulku” (Diet, nutritional education) for elementary school. The first Asia-Pacific conference on health promotion and education, Chiba, Jul. 18-20, 2009.
4. 松井知子(講演): 生活環境とメンタルヘルス～働く環境、快適職場とは～. 東京産業保健推進センター研修セミナー, 東京(東京東京産業保健推進センター), 平成21年8月10日.
5. 岡本博照¹, 照屋浩司², 深澤進次¹, 大嶺智子, 福田潤, 松井知子, 竹前理映子¹, 土田幸介¹, 上村隆元¹, 角田透¹ (¹杏林大・医・衛生公衆衛生学教室、²杏林大・保・公衆衛生学): M市の中高齢者運動相談事業について. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成21年10月21～23日.
6. 松井知子, 大嶺智子, 岡本博照¹, 深澤進次¹, 上村隆元¹, 土田幸介¹, 竹前理映子¹, 照屋浩司², 角田透¹ (¹杏林大・医・衛生学公衆衛生学、²杏林大・保・公衆衛生学): 中学校における学校相談体制の構築についてー第2報 校内委員会活動からー. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成21年10月21～21日.
7. 土田幸介¹, 照屋浩司², 岡本博照¹, 松井知子, 上村隆元¹, 竹前理映子¹, 深澤進次¹, 角田透¹ (¹杏林大・医・衛生公衆衛生学教室、²杏林大・保・公衆衛生学): 口腔アメニティと健診データの関連について. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成21年10月21～23日.
8. 竹前理映子¹, 上村隆元¹, 岡本博照¹, 松井知子, 土田幸介¹, 深澤進次¹, 照屋浩司², 角田透¹ (¹杏林大・医・衛生公衆衛生学教室、²杏林大・保・公衆衛生学): 歯科インプラント治療によるメンタルヘルス(GHQ)と健康効用値(HUI)の変化. 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成21年10月21～23日.
9. 松井知子(講演): 生活環境とメンタルヘルス～働く環境、快適職場とは～. 東京産業保健推進センター研修セミナー, 東京(東京東京産業保健推進センター), 平成21年11月9日.
10. 榎田京子¹, 市川佳居¹, 松井知子 (¹(株)イーブ): EAPとしての復職支援と休職者の傾向と分析. 第17回日本産業ストレス学会, 福岡, 平成21年11月27～28日.
11. 三浦由美子¹, 市川佳居¹, 松井知子 (¹(株)イーブ): GAF尺度を用いたカウンセリングの効果測定に関する検討. 第17回日本産業ストレス学会, 福岡, 平成21年11月28日.
12. Fukuda J., Asano S., Ohmine T., Yamada K., Moriguchi

- T., Imakiire M. Chiba T: Disposal gloves applying to first aid in sports settings in Japanese school, Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education (APHPE), Abstract 20, 2009
13. 朝野 聡、大嶺 智子、山田 浩平、福田 潤、佐々木 祐子：大学生の刺激欲求性とヘルスリスク行動との関連、第56回日本学校保健学会、沖縄、平成21年11月28日（学校保健研究、51,supple,2009）
 14. 朝野聡、新田麻衣、山田浩平、大嶺智子、：健康のためのアサーティブな行動選択に場の認知が与える影響、第56回日本学校保健学会、沖縄、平成21年11月28日（学校保健研究51,supple 394,2009）
 15. 松井知子、大嶺智子、万年宏美、福田潤、朝野聡、照屋浩司²（²杏林大・保・健康教育）：教職員全員であたる相談機能第1報～有効な教育相談組織の充実を考える～、第56回日本学校保健学会、沖縄、平成21年11月29日。
2. 朝野聡：健康教育の理論と保健指導——コミュニケーションとしての集団指導と個別指導、東山梨教育研究協議会保健教育部会教員研修会、2009年8月
 3. 松井知子：若年者のメンタルヘルスについて～五月病、うつ病等～：会報 東京都社会保険労務士会、No.342：17、2009。
 4. 松井知子：行動療法—産業心理臨床の理論と技法—、産業看護（5）：78-82、2009。
 5. 松井知子：産業心理学の立場から—産業保健に位置づけられるメンタルヘルスケア—、健康管理7：18-24、2009。
 6. 松井知子：メンタルヘルスと行動変容—行動療法の紹介—、外来精神医療9：22-28、2009。
 7. 松井知子：こころに効くレシピ「新入社員のメンタルヘルス対応」、東京経協会報「ばとろなとうきょう」No.62 春号p 17、2009。

著書

1. 田中正敏、曾田研二、稲葉 裕、赤松 隆、谷島一嘉、大嶺智子：衛生・公衆衛生学 人類と健康（第3版）、東京、杏林書院、2009。p.109-141。
2. 松井知子（翻訳）：オクラホマシティ爆破事件のストレス影響。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p233-235。
3. 松井知子（翻訳）：解離。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p316-324。
4. 松井知子（翻訳）：高齢者虐待。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p908-910。
5. 松井知子（翻訳）：食事とストレス（精神医学的な）。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p1297-1302。
6. 松井知子（翻訳）：食事（時間）のシフトによる影響。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p1312-1314。
7. 松井知子（翻訳）：性転換症。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p1686-1690。
8. 松井知子（翻訳）：パラノイア。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p2238-2242。
9. 松井知子（翻訳）：ヒロシマ原爆のストレス影響。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p2290-2293。
10. 松井知子（翻訳）：暴力。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p2509-2512。
11. 松井知子（翻訳）：ホロコーストのストレス影響。ストレス百科事典。ストレス百科事典翻訳刊行委員会編。東京、丸善、2009、p2530-2534。

その他

1. 朝野聡：薬物乱用防止教育 山梨県河口湖畔教育協議会教員研修会、2009年8月

救急救命学科 救急救命学研究室

口演、ポスター；

1. 和田貴子、細田武伸¹⁾、岡本博照²⁾、山内亮³⁾、馬場道夫、深沢政富（¹⁾鳥取大・医・社会医学健康政策医学、²⁾杏林大・医・衛生学公衆衛生学）：救急隊員の勤務状況とストレス—第1報—勤務状況の結果。第12回日本臨床救急医学会総会、大阪、平成21年6月12日。
2. 細田武伸¹⁾、岡本博照²⁾、和田貴子、山内亮子、馬場道夫、深沢政富（¹⁾鳥取大・医・社会医学健康政策医学、²⁾杏林大・医・衛生学公衆衛生学）：救急隊員の勤務状況とストレス—第2報—勤務上の疲労の結果。第12回日本臨床救急医学会総会、大阪、平成21年6月12日。
3. 岡本博照¹⁾、和田貴子、細田武伸²⁾、山内亮子、馬場道夫、深沢政富（¹⁾杏林大・医・衛生学公衆衛生学、²⁾鳥取大・医・社会医学健康政策医学）：救急隊員の勤務状況とストレス—第3報—NIOSH職業性ストレス調査の結果。第12回日本臨床救急医学会総会、大阪、平成21年6月12日。
4. 和田貴子、岡本博照¹⁾、細田武伸²⁾、菊川忠臣³⁾、（¹⁾杏林大・医・衛生学公衆衛生学、²⁾鳥取大学・医・社会医学健康政策医学、³⁾杏林大学大学院保健学研究科 救急救命学分野）：大都市部の救急隊員の勤務状況と疲労について。第37回日本救急医学会総会、盛岡、平成21年10月29日。
5. 和田貴子：デンマーク・コペンハーゲンのシミュレーション教育施設（DIMS）とドイツ・チュービンゲンのシミュレーション教育施設（TuPASS）を視察して。第37回日本救急医学会総会、盛岡、平成21年10月29日。
6. 和田貴子、小坂橋敏美¹⁾、本間裕康²⁾、鎌田重道²⁾、（¹⁾総務省消防庁救急企画室、²⁾救急振興財団）：デンマーク・コペンハーゲンの救急体制とシミュレーション教育施設（DIMS）の概要。第12回日本臨床救急医学会総会、大阪、平成21年6月12日。

7. 和田貴子、小坂橋敏美¹⁾ (¹⁾ 総務省消防庁救急企画室) : フランクフルト消防局における救急体制と救急隊員教育について。第 12 回日本臨床救急医学会総会、大阪、平成 21 年 6 月 12 日。
8. 菊川忠臣¹⁾、岡本博照²⁾、和田貴子 (¹⁾ 杏林大学大学院保健学研究科 救急救命学分野、²⁾ 杏林大・医・衛生学公衆衛生学) : さいたま市救急隊員の勤務状況と唾液アミラーゼに関する研究。杏林医学会、三鷹、平成 21 年 11 月 21 日。
9. Takenobu Hosoda¹⁾ ,Hiroteru Okamoto²⁾ ,Takako Wada ,Yamauchi Ryoko, Kazunari Onishi¹⁾ , Yasuko Tokushima¹⁾,Kazuo Mitani¹⁾ , Haoshengu Mu³⁾ , Shinji Otani³⁾ and Youichi Kurozawa¹⁾ (¹⁾ Division of Health Administration and Promotion, Department of Social Medicine, Faculty of Medicine, Tottori University, ²⁾ Department of Public Health and Preventive Medicine ,School of Medicine ,Kyorin University, ³⁾ Department of Arid Land Research Center, Tottori University): Comparison of the fatigue feeling of the ambulance paramedics between the urban area and the rural area in Japan: A cross-sectional study. 国際疫学会西太平洋地域学学術会議 兼 第 20 回日本疫学会学術総会、さいたま市、平成 22 年 1 月 10 日。
10. 田辺敦¹⁾、荒耕兎¹⁾、大橋教良²⁾、和田貴子、吉川恵次³⁾、神納光一郎⁴⁾、森下伊津夫⁵⁾、田中秀治⁶⁾、太田宗夫⁴⁾、(¹⁾ 全国救急救命士教育施設協議会、²⁾ 帝京平成大学、³⁾ 新潟医療技術専門学校、⁴⁾ 東洋医療専門学校、⁵⁾ 熊本総合医療福祉学院、⁶⁾ 国士舘大学) : 救急救命士養成校卒業生の就職現況と課題。第 12 回日本臨床救急医学会総会、大阪、平成 21 年 6 月 12 日。
11. 小野川傑¹⁾、田口晴彦¹⁾、和田貴子、山口芳裕²⁾、(¹⁾ 杏林大・保・免疫学、²⁾ 杏林大・医・救急医学) : 炎症部位への浸潤好中球に対する IL-6 シグナルによる機能制御。第 37 回日本救急医学会総会、盛岡、平成 21 年 10 月 29 日。

原著・論文；

1. 和田貴子、岡本博照¹⁾、笠置 康²⁾、松田剛明³⁾、山口芳裕³⁾、角田 透¹⁾ (¹⁾ 杏林大・医 衛生学公衆衛生学、²⁾ 松山笠置記念心臓血管病院、³⁾ 杏林大・医・救急医学) : 女性医師の人材活用についてのパイロット調査研究 第 1 報 - 救急医療に、より多くの女性医師が勤務する可能性について -。日本臨床救急医学会雑誌 12(4); 405-11, 2009。
2. 山内亮子、和田貴子、馬場道夫、深沢政富 : 救急搬送時間の短縮のための在宅療養者の情報シート。日本臨床救急医学会雑誌 12(5); 465-72, 2009。
3. 荻野暁、沼上清彦、和田貴子、吉川恵次、神納光一郎、森下伊津夫、田辺敦、大橋教良、田中秀治、太田宗夫 : 救急救命士養成校卒業生の就職実態。日本臨床救急医学会雑誌 12(6); 548-52, 2009。

著書

1. 和田貴子 : 今日の治療指針 2010 年度版。家庭用防虫

剤中毒、山口徹、北原光夫、福井次矢、編、東京。医学書院。2010.136 頁。

その他

1. 和田貴子 : 最新の救急救命士教育について、平成 21 年度病院前救護体制における救急救命士研修、東京、平成 21 年 8 月 24 日。
2. 和田貴子 : ワークショップ「救急救命士へのフィードバック及び生涯教育」、平成 21 年度病院前救護体制における指導医等研修、東京、平成 22 年 2 月 19 日。

神経生理学研究室

口演

1. 森和美、大瀧純一¹⁾、川崎洋介²⁾、鬼頭伸輔²⁾、古賀良彦²⁾ (¹⁾ 杏林大・保・精神保健学、²⁾ 杏林大・保・精神神経科) : うつ病における臨床症状と脳機能画像との関連性。第 105 回日本精神神経学会学術総会、神戸、平成 21 年 8 月 21 - 23 日。
2. 森和美、大瀧純一¹⁾、川崎洋介²⁾、鬼頭伸輔²⁾、古賀良彦²⁾ (¹⁾ 杏林大・保・精神保健学、²⁾ 杏林大・保・精神神経科) : うつ病における臨床症状と脳機能画像との関連性。第 7 回脳核医学画像解析研究会、平成 21 年 9 月 5 日。
3. 小池秀海 : 視覚と脳のはたらき — 脳は周囲の世界をどのように理解するのか —。八王子学園都市大学いちよう塾 / 杏林大学公開講演会、八王子、平成 21 年 10 月 24 日。

医療安全管理学研究室

口演

1. 川村治子 : 注射事故防止のために知っておくべきこと。テルモ医療安全セミナー大分、大分市、平成 21 年 5 月 30 日
2. 川村治子 : 転倒・転落事故防止教育。大阪府准看護学校教務主任会、大阪市、平成 21 年 8 月 1 日
3. 川村治子 : 医療安全 看護事故防止のために教えて (知って) おきたい危険知識。沖縄県看護教員養成講習会、那覇市、平成 21 年 10 月 3 日
4. 川村治子 : 医療安全教育～卒前から卒後まで～。石川県立看護大学附属地域ケア総合センター研究会、石川県かほく市、平成 21 年 10 月 17 日
5. 川村治子 : 看護実務のシナリオとシーンから展開する医療安全教育。医学書院看護教員実力養成講座、大阪市、平成 21 年 10 月 31 日
6. 川村治子 : 看護実務のシナリオとシーンから展開する医療安全教育。医学書院看護教員実力養成講座、東京都千代田区、平成 21 年 11 月 7 日
7. 川村治子 : リスクマネジメント手法 I インシデントレポートの有効活用。全国社会福祉施設経営者協議会、東京都台東区、平成 21 年 11 月 10 日
8. 川村治子、八重樫文¹⁾、久松慎一²⁾、里見慶³⁾、片山美緒³⁾、稲葉千恵美³⁾ (¹⁾ 立命館大学経営学部、²⁾ 東京大学情報、³⁾ 武蔵野美術大学造形学部) : ワークショップ 病院組織における e-Learning の有効活用 — 現状から今後の展望まで、若年看護師向け

医療安全教育へのeラーニングの活用. 第29回医療情報学連合大会, 広島市, 平成21年11月25日.

9. 川村治子: 医療安全教育～知らねばならない“危険”の知識. 広島県専任教員再教育研修会, 広島市, 平成21年12月8日
10. 川村治子: 転倒転落事故防止. 平成21年度浜松医科大学社会貢献プロジェクト, 浜松市, 平成21年12月19日
11. 川村治子: 医療事故防止のための必須知識. 宮崎県看護協会研修会, 宮崎市, 平成22年1月15,16日
12. 川村治子: 転倒転落事故防止の考え方と対策. 平成21年度看護職員実務者研修会, 名古屋市, 平成22年1月29日
13. 川村治子: ヒヤリハット分析と医療事故、医療安全教育—ハウツーからの脱却. 国立保健医療科学院, 和光市, 平成22年2月9日
14. 川村治子: ハウツー教育からの脱却—医療事故防止教育～注射と転倒転落事故防止を例に～. 長崎県看護協会研修会, 長崎県諫早市, 平成22年2月20日

論文

1. 川村治子: 現実的なリスクマネジメント—間違いを事故につなげない対策の強化を. *Nursing Business* 3, 802-806, 2009

神経機能制御外科学研究室

口演

1. 竹内昌孝¹、石黒朋子²、阿波根朝光²、小西善史、松前光紀¹ (¹東海大学脳神経外科、²葛西循環器脳神経外科病院脳神経外科): 特発性内頸動脈解離の1例: 症例報告. *JNET4*: 27-32, 2010
2. Y Iizuka¹, E Kohda¹, Y Tsutsumi², H Masaki², S Nosaka², N Morota³, S Kobayashi⁴, Y Konishi¹ (Department of Radiology, Stroke Center Toho University Ohashi Medical Center, ²Department of Radiology, National Center for Child Health and Development, ³Department of Neurosurgery, National Center for Child Health and Development, ⁴Department of Neurosurgery, Chiba Emergency Medical Center): Pediatric high-flow, cervical spinal, macro-arteriovenous fistula, treated with the endovascular cotton candy glue injection technique. *Childs Nerv Syst.* 2010

成人・高齢者看護学研究室

Adult and Geriatric Nursing

口演

1. 関根 由紀, 小松浩子¹ (¹前聖路加看護大学、現慶応義塾大学): 人工呼吸器離脱過程における心不全患者の取り組みの構造化. 第回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 神戸, 平成21年7月11日.

母子看護学・助産学研究室

学会発表

1. 田村毅¹, 久保恭子², 及川裕子³, 岸田泰子, 田崎知恵子⁴ (¹東京学芸大学・教育学部, ²埼玉医

科大学・保健医療学部, ³近代姫路大学・看護学部, ⁴上武大学・看護学部): 子育て期の夫婦の特徴と合同夫婦グループが夫婦に与える影響. 第26回日本家族研究・家族療法学会, 広島市, 平成21年6月5-7日.

2. 佐藤喜美子, 佐々木裕子, 山元有佳, 太田ひろみ¹ (¹杏林大・保・地域看護学): 大学を基盤とした多胎育児支援. 第3回日本母子看護学会学術集会, 和光市, 平成21年6月7日.
3. 土屋有利子: いのちのおはなし会. 三鷹市公立学校PTA連合会活動報告, 三鷹, 平成21年8月5日.
4. Kishida Y, Kubo K¹, Oikawa Y², Tamura T³, Kuramochi K³ (¹Saitama Medical University, School of Nursing, ²University of Kindai Himeji, School of Nursing, ³Tokyo Gakugei University, Faculty of Education): Changes in marital satisfaction in first-time parents throughout pregnancy and early parenting. *The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Kobe, Sep.19-20, 2009.*
5. 山元有佳, 佐藤喜美子, 佐々木裕子, 太田ひろみ¹, (¹杏林大・保・地域看護学): 多胎育児ピアサポートの取り組み. 第50回日本母性衛生学会学術集会, 横浜, 平成21年9月27-28日.
6. 岸田泰子, 田村毅¹ (¹東京学芸大学・教育学部): 乳幼児をもつ母親グループを対象とした親支援活動の評価. 第56回日本小児保健学会, 大阪市, 平成21年10月29-31日.
7. 久保恭子¹, 田村毅², 及川裕子³, 岸田泰子 (¹埼玉医科大学・保健医療学部, ²東京学芸大学・教育学部, ³近代姫路大学・看護学部): 里帰り分娩が父親の子育て・夫婦関係に与える影響. 第56回日本小児保健学会, 大阪市, 平成21年10月29-31日.
8. 及川裕子¹, 田村毅², 久保恭子³, 岸田泰子 (¹近代姫路大学・看護学部, ²東京学芸大学・教育学部, ³埼玉医科大学・保健医療学部): 父親の子育て関与が親としての成長に及ぼす影響. 第56回日本小児保健学会, 大阪市, 平成21年10月29-31日.
9. 坂巻さおり, 吉野純, 津波古澄子¹ (¹聖母大・看護学部): 学童後期の子どもたちが体験する「からかい」の現状. 第56回小児保健学会, 大阪, 平成21年10月29-31日.
10. 佐藤喜美子, 太田ひろみ¹, 佐々木裕子, 山元有佳, (¹杏林大・保・地域看護学): 多胎育児ピアサポート活動の課題—ピアサポーターの声から—. 日本双生児研究学会第24回学術講演会, 石川, 平成22年1月23日.

論文

1. 久保恭子¹, 岸田泰子, 及川裕子², 田村毅³, 田崎知恵子⁴ (¹埼玉医科大学・保健医療学部, ²近代姫路大学・看護学部, ³東京学芸大学・教育学部, ⁴上武大学・看護学部): 家族を支える看護の工夫—子育て期の夫婦を対象にした子育て支援(合同夫婦グループ)の試み—. *小児看護* 32: 1198-1202, 2009.

2. 新宮典子¹, 岸田泰子 (¹前 島根大学・医学部): 母性看護学実習における助産院見学実習の意義—学生が捉えた A 助産院におけるケア—. 助産雑誌 63 : 795-800, 2009.
3. 岸田泰子, 田村毅¹, 倉持清美¹ (¹東京学芸大学・教育学部): 乳幼児をもつ母親グループを対象とした親支援活動の評価. 東京学芸大学紀要 総合教育科学系 II 第 61 集 : 45-50, 2010.
4. 佐々木裕子 : はじめて親となる男性の父親役割適応に影響する要因. 母性衛生 50 : 413-421, 2009.
7. 山元有佳¹, 佐藤喜美子¹, 佐々木裕子¹, 太田ひろみ (¹杏林大・保・母子看護学助産学): 多胎育児ピアサポート活動の取り組み. 日本母性衛生学会 横浜, 平成 21 年 9 月 27-28 日
8. 照屋浩司¹, 岩見文博², 片桐朝美¹, 太田ひろみ, 石野晶子², 大嶺智子³, 林幹泰², 加藤英世² (¹杏林大・保・公衆衛生学, ²杏林大・保・母子保健学, ³杏林大・保・健康教育学): 幼児における音響的骨評価値と体格および生活習慣との関連について. 第 68 回日本公衆衛生学会 奈良, 平成 21 年 10 月 21-23 日.

著書

1. 佐藤喜美子 分筆 助産師資格試験研究会編集・発行 助産師国家試験予測問題 2010 クオリティケア 2009 年 8 月
2. 大木秀一¹ 太田ひろみ² 落合世津子³ 坂上明子⁴ 佐藤喜美子 志村恵⁵ 服部律子⁶, 他 (¹石川県立看護大学・²杏林大・保・地域看護学・³藍野大学・⁴埼玉県立大学 ⁵金沢大学 ⁶岐阜県立看護大学) 多胎育児支援全国普及事業推進委員会編集・発行 : 多胎育児支援ハンドブッカー多胎の妊娠・出産・育児—2010 年 1 月.
9. 大木幸子, 井上洋士¹, 狩野千草², 加藤昌代, 工藤恵子³, 高藤光子⁴, 高橋由美子⁵, 山田悦子⁶ (¹放送大学, ²東京都健康安全部, ³新宿区牛込保健センター, ⁴杏林大学国際協力研究科, ⁵武蔵野大学, ⁶新宿区福祉部, ⁷東京都多摩立川保健所, ⁸八王子市保健所): HIV 検査における陽性告知時の支援技術. 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良市, 平成 21 年 10 月 21-23 日 .
10. 山口佳子 : 大学における保健師教育に対する意見と卒業時の保健師実践能力到達度. 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成 21 年 10 月 21-23 日 .
11. 工藤奈織美¹, 塚本友栄¹, 小川貴子¹, 鈴木久美子¹, 春山早苗¹, 大澤真奈美², 小池亜紀子³, 櫻山豊夫⁴, 森仁実⁵, 山口佳子 (¹自治医科大学, ²群馬県立健康科学大学, ³栃木県南健康福祉センター, ⁴東京都福祉保健局, ⁵岐阜県立看護大学): 医療監視や施設指導における感染症予防のための保健所保健師活動. 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成 21 年 10 月 21-23 日 .
12. 小川貴子¹, 塚本友栄¹, 工藤奈織美¹, 鈴木久美子¹, 春山早苗¹, 大澤真奈美², 小池亜紀子³, 櫻山豊夫⁴, 森仁実⁵, 山口佳子 (¹自治医科大学, ²群馬県立健康科学大学, ³栃木県南健康福祉センター, ⁴東京都福祉保健局, ⁵岐阜県立看護大学): 感染症対策における保健所と教育機関の協働に関する課題. 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成 21 年 10 月 21-23 日 .
13. 塚本友栄¹, 小川貴子¹, 工藤奈織美¹, 鈴木久美子¹, 春山早苗¹, 大澤真奈美², 小池亜紀子³, 櫻山豊夫⁴, 森仁実⁵, 山口佳子 (¹自治医科大学, ²群馬県立健康科学大学, ³栃木県南健康福祉センター, ⁴東京都福祉保健局, ⁵岐阜県立看護大学): 感染症対策において保健所保健師に求められる能力. 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 平成 21 年 10 月 21-23 日 .
14. 宮島謙介¹, 大木幸子, 長谷川博史 (¹日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス): MSM 人口内における予防介入困難群の探索 : グループ・インタビューにより抽出した予防行動阻害要因と MSM サブポピュレーション. 第 23 回日本エイズ学会学術集会, 名古屋市, 平成 21 年 11 月 26-28 日.
15. 生島嗣¹, 大塚理加², 大槻知子³, 本橋宏一⁴, 大木幸子, 山本博之⁵ (¹特定非営利活動法人ぷれいす東京, ²東京都老人総合研究所, ³財団法人エイズ予防財団, ⁴明治学院大学, ⁵東京福祉大学): 地

その他

1. 佐藤喜美子 多摩多胎ネットによる多胎育児支援活動報告 いちよう塾 第 3 回 八王子まちづくりフォーラム まちに孵化した「ひよこ」を育てよう パネルディスカッション 八王子市 平成 21 年 11 月 7 日

地域看護研究室

口演

1. 大木幸子 : HIV 陽性告知における支援の支援と技術. 日本地域看護学会シンポジウム, 千葉市, 平成 21 年 5 月 17 日 .
2. 佐藤喜美子¹, 佐々木裕子¹, 山元有佳¹, 太田ひろみ (¹杏林大・保・母子看護学助産学): 大学を基盤とした多胎育児支援の活動報告. 第 3 回日本母子看護学会, 和光市, 平成 21 年 6 月 7 日
3. 渡辺志保¹, 岩永俊博¹, 安藤実里¹, 水間朋子², 下開千春³, 加藤昌代 (¹地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター, ²県立広島大学, ³第一生命経済研究所): A study of factors affecting the development of health promotion activity which is centered on local inhabitants and methods of outside support. 第 1 回アジア太平洋 ヘルスプロモーション・健康教育学会, 千葉市, 平成 21 年 7 月 19 日.
4. 大木幸子 : 地域社会の活性化を目指してこの時代の保健活動を考える. 保健師等ブロック別研修会 (近畿ブロック), 和歌山市, 平成 21 年 8 月 20 日 .
5. 大木幸子 : 在宅における感染症予防について. 東京都在宅重症心身障害児 (者) 訪問事業従事者研修, 東京, 平成 21 年 9 月 9 日 .
6. 大木幸子 : 「個別支援」・「地域支援」両者の総合的支援の視点について. 横浜市地域福祉コーディネーター養成研修, 横浜市, 平成 21 年 9 月 17 日 .

域の相談機関における HIV 陽性者への相談対応に関する調査. 第 23 回日本エイズ学会学術集会, 名古屋市, 平成 21 年 11 月 26-28 日.

16. 山口佳子: 保健師活動が見える記録のあり方—活動をつなぐための保健師記録. 埼玉県第 3 回健康福祉セミナー, 大宮, 平成 21 年 12 月 1 日.
17. 大木幸子: 個別のケース支援と地域支援の連動について. 横浜市福祉保健センター事業企画担当者研修, 横浜市, 平成 22 年 1 月 6 日.
18. 佐藤喜美子¹, 太田ひろみ, 山元有佳¹, 佐々木裕子¹ (¹杏林大・保・母子看護学助産学): 多胎育児ピアサポート活動の課題—ピアサポーターの声から. 第 24 回日本双生児研究学会, 金沢, 平成 22 年 1 月 23 日.
19. 大木幸子: 今こそ求められる コミュニティ・エンパワメントへの支援. 宇都宮市保健所管内保健師等研修会, 宇都宮市, 平成 22 年 3 月 1 日.
20. 大木幸子: 保健師現任教育の今後と保健師の専門性, 青森県保健師活動研修会, 青森市, 平成 22 年 3 月 17 日.

論文

1. 森田桂: 重症心身障害児の在宅療養維持の要因—主たる介護者の面接調査から. 日本重症心身障害学会誌, 第 34 巻 3 号, 375 - 381, 2009.
2. 大木幸子: HIV 陽性者への相談・支援機能の強化のために. 保健師ジャーナル 65(11): 東京, 医学書院, p.917-922, 2009.
3. 照屋浩司¹, 岩見文博², 片桐朝美¹, 真鍋知子¹, 太田ひろみ, 石野晶子², 大嶺智子³, 加藤英世² (¹杏林大・保・公衆衛生学, ²杏林大・保・母子保健学, ³杏林大・保・健康教育学): 幼児における音響的骨評価値と体格および生活習慣との関連について. 杏林医学会誌 40 (3) :34-42, 2009.
4. 大木幸子: コミュニティ・エンパワメントのための支援技術 1 「今こそ求められるコミュニティ・エンパワメントへの支援」. 保健師ジャーナル 66(1): 東京, p.66-71, 2010.
5. 大木幸子: コミュニティ・エンパワメントのための支援技術 2 「個と地域を行き来する」ことと「多様なチャンネルの獲得」. 保健師ジャーナル 66(2): 東京, p.146-151, 2010.
6. 大木幸子: コミュニティ・エンパワメントのための支援技術 3 「アドヴォカシーへの支援」. 保健師ジャーナル 66(3): 東京, p.266-271, 2010.
7. 山口佳子: 大学における保健師基礎教育制度のあり方に関する卒業生の意見. 保健師ジャーナル 66(3), p.244-251, 2010.
8. 山口佳子: 大学における保健師教育制度のあり方に関する意見と卒業時の保健師実践能力到達度. 杏林大学研究報告教養部門第 27 巻 :p.25-34, 2010.
9. 麻原きよみ¹, 大森純子¹, 小林真朝¹, 平野優子¹, 鈴木良美², 荒木田美香子³, 大木幸子, 岡本玲子⁴, 奥山則子⁵, 海原逸子⁶, 須藤裕子⁷, 長江弘子³, 宮崎美砂子⁸, 村嶋幸代⁹ (¹聖路加看護大学, ²東邦

大学医学部看護学科, ³国際医療福祉大学小田原保健医療学部, ⁴岡山大学大学院保健学研究科, ⁵東京慈恵会医科大学医学部看護学科, ⁶横浜市健康福祉局地域福祉保健部, ⁷小鹿野町保健福祉課, ⁸千葉大学看護学部, ⁹東京大学大学院医学系研究科): 保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達度. 日本公衆衛生学会雑誌 57(3): p.184-194, 2010.

著書

1. 大木幸子: 母子保健. 系統看護学講座 専門基礎 公衆衛生. 日本看護協会監修. 東京, 医学書院, 2009. p.150-163.
2. 山口佳子: 保健師教育制度. 看護大事典 第 2 版. 和田攻・南裕子・小峰光博編. 東京, 医学書院, 2010.p2691.
3. 山口佳子: 保健師国家試験. 看護大事典 第 2 版. 和田攻・南裕子・小峰光博編. 東京, 医学書院, 2010.p2691.

その他

1. 大木幸子, 井上洋士¹, 稲葉洋子², 加藤昌代, 狩野千草³, 工藤恵子⁴, 小松実弥⁵, 高藤光子⁶, 高橋由美子⁷, 森田桂, 山田悦子⁸ (¹放送大学, ²東京都健康安全部, ³新宿区牛込保健センター, ⁴杏林大学国際協力研究科, ⁵武蔵野大学, ⁶新宿区福祉部, ⁷東京都多摩立川保健所, ⁸八王子市保健所): 保健所における HIV 陽性者への相談・支援機能に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 (総合研究報告書) 「地域における HIV 陽性者等支援のための研究」報告書. 東京, 2010 年 3 月.
2. 大木幸子, 太田ひろみ, 加藤昌代, 小林浩子¹ 櫻井尚子², 竹内和代³, 土屋厚子⁴, 長田和美⁵, 水嶋春朔⁶, 森田桂 (¹仙台市健康福祉局保健衛生部健康増進課, ²東京慈恵会医科大学大学院医学研究科, ³所沢市保健福祉部保健センター, ⁴静岡県厚生部医療健康局健康増進室, ⁵矢崎健康保険組合, ⁶社団法人日本看護協会事業開発部, ⁷横浜市立大学医学部): 平成 21 年度地域保健総合推進事業 「特定健康診査・特定保健指導等受診率向上に関する事例集作成検討会」報告書. 東京, 2010 年 3 月.
3. 永江尚美¹, 飯田芳枝², 堀幸子³, 戸森良江⁴, 柳瀬厚子⁵, 山科美絵⁶, 川又協子⁶, 相木直美⁷, 本間華子⁸, 永田智子⁹, 大木幸子他 (¹島根県浜田保健所, ²石川県健康福祉部健康福祉少子対策監室, ³岐阜県健康福祉部, ⁴埼玉県保健医療部, ⁵兵庫県加古川健康福祉事務所, ⁶東京都多摩立川保健所, ⁷石川県石川中央保健福祉センター, ⁸岐阜県関保健所, ⁹東京大学): 平成 21 年度地域保健健康総合推進事業 「保健所機能を活かした保健・医療 (看護) ・福祉の連携強化」報告書. 東京, 2010 年 3 月.
4. 永江尚美¹, 飯田芳枝², 堀幸子³, 戸森良江⁴, 柳瀬厚子⁵, 山科美絵⁶, 川又協子⁶, 相木直美⁷, 本間華子⁸, 永田智子⁹, 大木幸子他 (¹島根県浜田保健所, ²石川県健康福祉部健康福祉少子対策監室, ³岐阜県健康福祉部, ⁴埼玉県保健医療部, ⁵兵庫県加古川健康福祉事務所, ⁶東京都多摩立川保健所, ⁷石

川県石川中央保健福祉センター,⁸ 岐阜県関保健所,⁹ 東京大学):平成21年度地域保健健康総合推進事業「地域におけるネットワーク構築のためのガイドライン」.東京,2010年3月.

5. 平野かよ子¹, 山口佳子, 俵麻紀², 末永カツ子¹, 中板育美³, 奥山則子⁴, 斎藤真理子⁵, 大熊八重⁶, 成木弘子³, 倉下美和子⁷, 塚原洋子⁸ (1 東北大学大学院医学系研究科, 2 国立看護大学校, 3 国立保健医療科学院, 4 東京慈恵会医科大学, 5 栃木県鹿沼市, 6 埼玉県健康福祉部, 7 東京都多摩府中保健所, 8 pp 会主宰):平成21年度地域保健総合推進事業「保健師の活動方法の明確化と視聴覚機材による継承方法の開発」報告書.2010年3月.
6. 春山早苗¹, 山口佳子, 櫻山豊夫², 倉橋俊至³, 筒井智恵美⁴, 堀裕美子⁵, 北島信子⁶, 有馬和代⁷, 川人礼子⁷, 塚本友栄¹, 島田裕子¹ (1 治医科大学看護学部, 2 東京都福祉保健局, 3 足立区衛生部足立保健所, 4 東京都南多摩保健所, 5 荒川区保健所, 6 大阪府八尾保健所, 7 大阪市保健所):平成21年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)分担研究報告書「大都市部における感染症集団発生時の保健活動」.2010年3月

精神看護学研究室

口演

1. 森数美¹, 大瀧純一, 川崎洋介^{2,3}, 鬼頭伸輔², 古賀良彦² (1 杏林大・保・救急救命学科 神経生理学教室, 2 杏林大・医・精神神経科学教室, 3 峡西病院):うつ病における臨床症状と脳機能画像との関連性.第105回日本精神神経学会学術総会,神戸,平成21年8月21-23日

論文

1. 松岡晴香:精神科勤務における看護師の職業性ストレスとその影響.日本精神保健看護学会誌18巻1号:1-9,2009.
2. 田野将尊:精神科急性期病棟におけるカンファレンス開催の実情と意義 都内精神科B病院の現状.リハビリテーション連携科学10巻1号:41-42,2009.
3. 田野将尊, 佐藤雅美¹, 小林啓之² (1 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院看護部, 2 財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院第一診療部):【病状悪化!? 急な変化にどう対応するか】精神科急性期治療に多職種で取り組むシステムと技術 多職種連携を進めるクリニカルパスの活用.精神科臨床サービス10巻1号:102-105,2010.

臨床生理学・医用応用工学研究室

口演(学会等)

1. 石山陽事:計測診断機器(脳波計,筋電計,呼吸機器等)の概要と安全管理.第1種ME講習会,東京,平成21年4月5日.
2. 三谷博子, 石山陽事:居眠り検知に関する神経生理学的パラメータに関する基礎的検討.第48回日本生体医工学会,東京,平成21年4月23-25日.

3. 今井 正¹, 柏木紀哉¹, 佐藤功¹, 三好真琴¹, 横井 昭¹, 横尾智子², 河西美代子², 保瀬由江², 三谷博子, 石山陽事 (1 香川県立保健医療大学, 2 東京文化短期大学):フローボリューム検査の新しいパラメータ「平均流速」及び「加速度波形」の原稿パラメータとの比較.第56回日本臨床検査医学会,札幌,平成21年8月26-29日
4. 三谷博子, 石山陽事:交感神経皮膚反応(SSR)を用いた新たな認識機能検査法の検討.第56回日本臨床検査医学会,札幌,平成21年8月26-29日
5. 横山直樹, 三谷博子, 石山陽事:眼鏡型居眠り検知システムに関する神経生理学的検討.第7回生活支援工学系学会連合大会(第25回ライフサポート学会大会・第9回日本生活支援工学学会大会),高知,平成21年9月21-26日
6. 三谷博子, 石山陽事(オーガナイズドセッション):認知機能に対する交感神経皮膚反応SSRの応用.第7回生活支援工学系学会連合大会(第25回ライフサポート学会大会・第9回日本生活支援工学学会大会),高知,平成21年9月21-26日
7. 石山陽事:修理業への期待.厚生労働大臣指定修理業責任者技術専門講習会,(財)医療機器センター,東京,平成21年9月17日
8. 三谷博子, 石山陽事:種々の感覚刺激によるSSRの立上り潜時差と認識に関する生理学的検討.第62回日本自律神経学会,和歌山,平成21年10月4-6日.鈴木克弥,宮崎孝啓,三谷博子,石山陽事:パルスオキシメータによる呼吸動態の検出とSAS型判定の推定に関する検討.第38回杏林医学会,三鷹,平成21年11月21日.
9. 宮川 晋, 佐々浩樹, 平井 真史, 三谷 博子, 石山陽事:視覚刺激による交感神経皮膚反応(SSR)と認知機能の基礎的検討.第38回杏林医学会,三鷹,平成21年11月21日
10. 桑原宏幸, 掛巢 翠, 本田大輔, 横山直樹, 三谷博子, 石山陽:意識レベル低下の検知を目的とした神経生理学的パラメータの検討.第38回杏林医学会,三鷹,平成21年11月21日
11. 宮川 晋, 佐々浩樹, 平井真史, 三谷博子, 石山陽事:視覚刺激による交感神経皮膚反応(SSR)を用いた新たな認知機能検査法の基礎的検討一認知症の早期発見を目的とした新たな検査法について一.第1回大学コンソーシアム八王子学生発表会,八王子,平成21年12月5日.
12. 寺本圭吾, 大石あゆみ, 三谷博子, 石山陽事:医療現場における静電気防止用靴の有用性に関する検討.第1回大学コンソーシアム八王子学生発表会,八王子,平成21年12月5日.
13. 宮崎孝啓, 鈴木克弥, 三谷博子, 石山陽事:睡眠時無呼吸症候群(SAS)の抽出とその型判定まで可能な指先センサ開発の基礎的研究.第1回大学コンソーシアム八王子学生発表会,八王子,平成21年12月5日.
14. 本田大輔, 掛巢 翠, 三谷博子, 石山陽事:脳波

信号を主とした実用的な眼鏡型居眠り検出装置の検討. 第1回大学コンソーシアム八王子学生発表会, 八王子, 平成21年12月5日.

論文

1. 三谷博子, 石山陽事: 交感神経皮膚反応 SSR について. 自律神経 46: 156 - 160, 2009.
2. 三谷博子, 石山陽事: 交感神経皮膚反応の記録とその応用. 神経内科 72: 58 - 66, 2010.

著書

1. 石山陽事 (分担): 計測機器の取り扱いと保守. 第9章心電計, 心電モニタ, 第10章脳波計, 筋電計, MEの基礎知識と安全管理. 改訂第6版, (株)日本生体医工学会 ME 技術教育委員会, 南江堂, 2009. P130 - 157.

その他

1. 石山陽事 (分担): 第15回第1種 ME 技術実力検定試験問題解説集, 日本医工学 ME 技術教育委員会監修, 2009.
2. 石山陽事 (分担): 平成21年度医療機器修理業責任技術者専門講習会

先端臨床工学研究室

口演

1. 中島章夫, 福長一義: 電気メスチェックシステムの開発 (リアルタイム計測解析タイプ), 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
2. 福長一義, 福井裕輝¹, 嶋津秀昭², 石山陽事³, 大瀧純一⁴, 福井康裕⁵, 加藤綾子⁶ (国立精神神経センター, ²杏林大・保・臨床生理学 医用応用工学, ³杏林大・保・生理 生体工学, ⁴杏林大・保・精神看護学, ⁵東京電機大・理工, ⁶埼玉医大・保健): リアルタイム NIRS バイオフィードバックの精神医学への応用, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
3. 平井紀光¹, 濱田ゆかり, 平林美穂, 榎本浩充, 前田祐治朗, 福長一義, 大竹隆²: (¹桐蔭横浜大学・医用工学, ²三千堂治療院): 経穴の電気インピーダンス計測による生体諸機能の動的平衡状態診断の可能性についての検討, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
4. 福長一義, 平野太一¹, 保田正範², 酒井啓司¹ (¹東京大学生産技術研究所, ²杏京都電子工業 (株)): 電磁スピニング法による非接触血液粘性計測, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
5. 山本圭介¹, 舟久保昭夫¹, 堀越俊彦¹, 長谷川和典¹, 福長一義, 佐藤耕司郎², 矢口俊之³, 住倉博仁⁴, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²富士システムズ (株), ³ミシガン大学, ⁴国立循環器病センター研究所): 再循環型完全液体呼吸システムの性能評価に関する研究, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
6. 春日晃¹, 住倉博仁², 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立循環器病センター研究所, ³ミシガン大学): 遺伝的アルゴリズムを用いた軸流血液ポンプ用羽根形

状に関する検討, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.

7. 古川信¹, 住倉博仁², 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立循環器病センター研究所, ³ミシガン大学): 軸流血液ポンプ用モータのコギングトルクに関する研究, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
8. 和田知之¹, 住倉博仁², 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立循環器病センター研究所, ³ミシガン大学): エンクロード型軸流血液ポンプの羽根全長に関する検討, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
9. 村田達也¹, 住倉博仁², 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立循環器病センター研究所, ³ミシガン大学): 軸流血液ポンプ用円錐型スパイラル溝付動圧軸受けにおける溝形状に関する基礎的検討, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
10. 岩田智治¹, 住倉博仁², 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立循環器病センター研究所, ³ミシガン大学): 軸流血液ポンプの駆動特性に関する検討, 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月25日.
11. 中島章夫, 福長一義, 須田健二¹ (¹杏林大・保・血液浄化療法学): タブレット PC を用いた医療機器管理システムの開発 1 ~ DB システムの開発と試用 ~, 第84回日本医療器械学会大会, 横浜, 平成21年5月15日.
12. 中島章夫, 医療機器を安全に扱うための基礎知識「安全の基礎とトラブル事例～電気編～」, 第31回 ME 技術講習会 (医療機器安全基礎講習会), 医療機器センター, 平成21年6月14日, 札幌.
13. 中島章夫: 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 第2回医療機器情報コミュニケータ (MDIC) 認定セミナー, 平成21年9月20日 (東京 A)・10月3日 (福岡)・24日 (札幌), 11月22日 (東京 B).
14. 村田達也¹, 住倉博仁², 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立循環器病センター研究所, ³ミシガン大学): 軸流血液ポンプ用円錐型スパイラル溝付動圧軸受けに関する基礎的検討, 第7回生活支援工学系連合大会, 高知, 平成21年9月24日.
15. 春日晃¹, 住倉博仁², 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之³, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立循環器病センター研究所, ³ミシガン大学): 軸流血液ポンプ用羽根形状の羽根角度に関する検討, 第7回生活支援工学系連合大会, 高知, 平成21年9月24日.
16. 山本圭介¹, 舟久保昭夫¹, 山中由宇¹, 矢嶋めぐみ¹, 福長一義, 佐藤耕司郎² (¹東京電機大・理工, ²富士システムズ (株)): 完全液体呼吸システムの性能評価に関する検討, 第7回生活支援工学系連合大会, 高知, 平成21年9月24日.
17. 三本木慧介¹, 舟久保昭夫¹, 福長一義 (¹東京電機大・

理工)：新生児用 ECMO システムの開発に関する基礎研究，第7回生活支援工学系連合大会，高知，平成21年9月24日。

18. 中島章夫：医療機器と安全工学，第3回 IBHRE 検定試験受験のための業界指定講習会プログラム，平成21年10月10日(大阪)・17日(東京)
19. 岩田智治¹，住倉博仁²，福長一義，大越康晴¹，矢口俊之³，舟久保昭夫¹，福井康裕¹ (¹東京電機大・理工，²国立循環器病センター研究所，³ミシガン大学)：軸流血液ポンプの発熱に関する基礎的検討，電気学会リニアドライブ研究会，東京，平成21年10月20日。
20. 福長一義，大塚祥訓，平野太一¹，保田正範²，酒井啓司¹ (¹東京大学生産技術研究所，²杏京都電子工業(株))：電磁スピニング法による粘性計測の検討，電気学会リニアドライブ研究会，東京，平成21年10月20日。
21. 白石泰之¹，佐藤優太²，Sugai Telma Keiko¹，三浦英和¹，福長一義，田中明³，馬場敦⁴，藤本哲男²，梅津光生²，西條芳文¹，山家智之¹，本間大⁵ (¹東北大・加齢医学研，²早稲田大・理工，³福島大学，⁴芝浦工業大学，⁵トキコーポレーション)：人工心筋の高機能化に向けた工学的制御法の基礎検討，電気学会リニアドライブ研究会，東京，平成21年10月20日。
22. 中島章夫，加藤 忠介，老沼 由実加，福長一義：PC制御半自動型電気メスチェッカの開発，第38回日本医療福祉設備学会，東京，平成22年11月12日
23. 福長一義，舟久保昭夫¹，阿部祐輔²，福井康裕¹ (¹東京電機大・理工，²東京大学・医)：完全人工心臓用カスケード遠心ポンプの提案，日本定常流ポンプ研究会，新潟，平成21年11月12日。
24. 磯山隆¹，根元功²，斎藤逸朗¹，福長一義，矢野哲也³，井上雄介¹，井街宏¹，阿部裕輔¹ (¹東京大・医学系研究科，²iMed Japan，³秋田県立大学)：渦巻型血液ポンプの設計試作，第47回日本人工臓器学会大会，新潟，平成21年11月12日。
25. 岩田智治¹，住倉博仁²，福長一義，大越康晴¹，矢口俊之³，舟久保昭夫¹，福井康裕¹ (¹東京電機大・理工，²国立循環器病センター研究所，³ミシガン大学)：軸流血液ポンプの内部温度に関する基礎検討，第47回日本人工臓器学会大会，新潟，平成21年11月12日。
26. 和田知之¹，住倉博仁²，福長一義，大越康晴¹，矢口俊之³，舟久保昭夫¹，福井康裕¹ (¹東京電機大・理工，²国立循環器病センター研究所，³ミシガン大学)：エンクローズド型軸流血液ポンプの羽根構成に関する検討，第47回日本人工臓器学会大会，新潟，平成21年11月12日。
27. 福長一義，白石泰之¹，舟久保昭夫²，山家智之¹，福井康裕² (¹東北大・加齢医学研，²東京電機大・理工)：胸腔鏡下で装着可能な心臓拍動補助装置の提案，第47回日本人工臓器学会大会，新潟，平成21年11月12日。
28. 村田達也¹，住倉博仁²，福長一義，大越康晴¹，矢口俊之³，舟久保昭夫¹，福井康裕¹ (¹東京電機大・理工，²国立循環器病センター研究所，³ミシガン大学)：軸流血液ポンプ用円錐型スパイラル溝付動圧軸受のポンプ内特性に関する基礎的検討，第47回日本

人工臓器学会大会，新潟，平成21年11月12日。

29. 中島章夫，山田 洋，村上 卓：脳組織レーザ蒸散効率の定量測定法の開発，第30回日本レーザー医学学会大会，東京，平成22年12月3日

論文

1. 中島章夫：血圧センサの最新動向・圧力トランスデューサ関連製品の現状、医療機器学、80：38-42, 2010

著書

1. 中島章夫，福長一義：医用電子工学、中島章夫編、東京、医歯薬出版、2009.4.15
2. 中島章夫，福長一義：医用情報処理工学、中島章夫、菊地眞、戸畑裕志編、東京、医歯薬出版、2010.2.10

生理・生体工学研究室

口演

1. 嶋津秀昭：理解すべき工学的基礎知識Ⅰ．第15回第1種ME技術実力検定試験講習会，東京，平成21年4月5日。
2. 瀬野晋一郎，加藤幸子，有馬太郎，武内玲子，渡辺篤志¹，小林博子，嶋津秀昭 (¹杏林大・保・医用情報)：電気刺激を用いた口腔内知覚閾値の測定．第48回日本生体医工学会大会，東京，平成21年4月23日。
3. 嶋津秀昭：感覚情報の定量－痛み測定の定量－．実践ME技術講習会（第8回臨床ME専門認定士認定更新講習会），横浜，平成21年5月14日。
4. 嶋津秀昭：[デモンストレーション付き] 痛みの定量評価法．技術情報協会セミナー，東京，平成21年5月29日。
5. 有馬太郎，加藤幸子，小林博子，嶋津秀昭：肘窩、膝の経穴部における電気刺激による知覚閾値計測の試み．第58回(社)全日本鍼灸学会学術大会，大宮，平成21年6月13日。
6. 加藤幸子，有馬太郎，小林博子，嶋津秀昭：鍼灸治療におけるVAS値の電氣的痛み定量評価法との比較．第58回(社)全日本鍼灸学会学術大会，大宮，平成21年6月13日。
7. 嶋津秀昭：データの解析結果について．第9回知覚・痛覚研究会，東京，平成21年7月2日。
8. 嶋津秀昭：データの解析結果について．第10回知覚・痛覚研究会，名古屋，平成21年7月18日。
9. 加藤幸子：精油の好き嫌い自律神経との関係性に関する実験的評価．第12回日本アロマセラピー学会学術総会，札幌，平成21年10月11日。

著書

1. 嶋津秀昭：第Ⅰ章 コンピュータとは何か．臨床工学ライブラリーシリーズ7 医療系スタッフのための情報システム入門 コンピュータで何が出来るか．影山博之編．東京，学研メディカル秀潤社，2009．p.8-28。
2. 嶋津秀昭：第Ⅴ章 医療とコンピュータ．臨

床工学ライブラリーシリーズ7 医療系スタッフのための情報システム入門 コンピュータで何ができるか. 影山博之編. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2009. p.140-157.

- 小林博子: 第1章 生体計測の基礎 2. 生体情報の計測. 臨床工学講座 生体計測装置学. 石原謙編. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2010. p.23-38.

医用情報工学研究室

口演

- 瀬野晋一郎¹, 加藤幸子¹, 有馬太郎¹, 武内玲子¹, 渡辺篤志, 小林博子¹, 嶋津秀昭¹ (¹杏林大・保・生理生体工学): 電気刺激を用いた口腔内知覚閾値の測定. 第48回日本生体医工学会大会, 東京, 平成21年4月23日.
- 岡田洋二¹, 田中薫, 丘島晴雄¹ (¹杏林大・保・分析化学): ラジカル種に対するアリシンの反応性. 第62回日本酸化ストレス学会学術集会, 福岡, 平成21年6月11日~12日.
- 岡田洋二¹, 田中薫, 佐藤英助², 丘島晴雄¹ (¹杏林大・保・分析化学, ²青森大・薬・分析化学): カプサイシンの抗酸化活性部位に関する研究. 日本薬学会第130年会, 岡山, 平成22年3月28~30日.

著書

- 田中薫: 第IV章 通信とネットワーク. 臨床工学ライブラリーシリーズ⑦医療系スタッフのための情報システム入門 - コンピュータで何ができるか -. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2009. p.85-138.
- 渡辺篤志: 第II章 コンピュータの基礎, 第III章 コンピュータと情報. 臨床工学ライブラリーシリーズ⑦ 医療系スタッフのための情報システム入門 - コンピュータで何ができるか -. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2009. p.30-84.

血液浄化療法学研究室

口演

- 須田健二、鈴木祥史、村上辰和嘉¹、松山幸枝²、前田貞亮¹、恵良聖一²、副島昭典(¹前田腎研究所、²岐阜大学医学部): 透析患者の還元型アルブミン比率について一原病と年齢との関係. 第52回日本腎臓学会総会、横浜、平成21年6月4日
- 鈴木祥史、須田健二、吉岡佳、副島昭典: 絆創膏を使用しない透析回路固定部材の考案. 第54回日本透析医学会総会、横浜、平成21年6月9日
- 鈴木祥史、須田健二、平岡厚、村上辰和嘉¹、松山幸枝²、南武志²、前田貞亮¹、恵良聖一²、副島昭典(¹前田腎研究所、²岐阜大学医学部): 電解還元水を添加した透析液を用いたアルブミンの透析とその効果. 第21回腎とフリーラジカル研究会、岡山、平成21年9月26日
- 須田健二、鈴木祥史、鈴木直也、副島昭典: ダイ

アライザー内凝固による種々の圧パラメーターの変動について. 第58回三多摩腎疾患治療医会、三鷹、平成21年12月6日

著書

- 副島昭典: 第103回医師国家試験問題解説書(分担執筆). 医学評論社、東京、2009
- 副島昭典: 非乏尿性急性腎不全(分担執筆). 透析療法事典、秋澤忠男、他編、医学書院、東京、2009
- 副島昭典: 急性腎不全の透析導入基準(分担執筆). 透析療法事典、秋澤忠男、他、編、医学書院、東京、2009
- 須田健二、副島昭典: 急性腎不全の透析導入基準(分担執筆). 透析療法事典、秋澤忠男、他、編、医学書院、東京、2009
- 副島昭典、鈴木祥史: チャート式 腎臓病学/血液浄化法. 東京医学社、東京、2009
- 副島昭典: CBT こあかり5リ・コ五肢択一型式編(分担執筆)、医学評論社、東京、2009
- 副島昭典: CBT こあかり6リ・コ連問形式編(分担執筆)、医学評論社、東京、2009
- 副島昭典: CBT こあかり2オールチェック(分担執筆)、医学評論社、東京、2009
- 副島昭典: CBT こあかりオリエンテーション第3版(分担執筆)、庄司進一、松田重三、編、医学評論社、東京、2009

循環器病態生理学研究室

口演

- 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成21年7月23日.
- 吉野秀朗¹, 四倉正之, 坂田好美¹, 池田隆徳¹ (¹杏林大・医・第二内科): 日常臨床における循環器Q & A. 第18回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成21年6月16日.
- 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成21年9月24日.
- 米良晃久¹、池田隆徳¹、柚須悟¹、阿部敦子¹、石黒晴久¹、塚田雄大¹、榊桂¹、宮越睦¹、三輪陽介¹、星田京子¹、四倉正之、吉野秀朗¹ (¹杏林大・医・第二内科): 重症心疾患に起因した心室頻拍・細動に対する静注用III抗不整脈薬の効用 —ニフェカランとアミオダロンの比較検討—, シンポジウムII 難治性心室性不整脈における薬物治療、日本心電学会学術集会. 京都. 平成21年7月2日.
- 吉野秀朗¹, 四倉正之, 坂田好美¹, (¹杏林大・医・第二内科): 日常臨床における循環器Q & A. 第19回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成21年10月20日.
- 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成21年10月29日.
- 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成21年11月26日.
- 吉野秀朗¹, 四倉正之, 池田隆徳¹, 福長一義² (¹杏林大・医・第二内科, ²杏林大・保・先端臨床工学):

日常臨床における循環器 Q & A. 第 20 回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成 22 年 2 月 8 日.

9. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成 22 年 1 月 20 日.
10. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成 22 年 2 月 25 日.
11. Hisaaki Mera¹, Takanori Ikeda¹, Satoru Yusu¹, Atsuko Abe¹, Haruhisa Ishiguro¹, Takehiro Tsukada¹, Mutsumi Miyakosi¹, Yosuke Miwa¹, Kyoko Hosida¹, Ryoji Yanagisawa¹, Masayuki Yotsukura, hideaki Yoshino¹(¹杏林大・医・第二内科): Intravenous class III antiarrhythmic drugs for treatment of electrical storm refractory to electrical cardioversion: Nifecarant versus Amiodaron. The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. Kyoto. March 7, 2010.

論文

1. 四倉正之, 吉野秀朗¹(¹杏林大・医・第二内科): ECG クイズ No1. 循環 plus 9-7: 13-14, 2009.
2. 四倉正之, 吉野秀朗¹(¹杏林大・医・第二内科): ECG クイズ No3. 循環 plus 9-9: 13-14, 2009.
3. 四倉正之, 吉野秀朗¹(¹杏林大・医・第二内科): ECG クイズ No5. 循環 plus 9-11: 13-14, 2009.
4. 吉野秀朗¹, 四倉正之, 池田隆徳¹(¹杏林大・医・第二内科): ECG クイズ. 循環 plus 別冊: 4-7, 12-15, 20-23, 28-31, 36-39, 4447, 2009.

病理学研究室

口演

1. 中島弘一¹, 石井保吉¹, 栗原達也¹, 岡俊郎¹, 窪田真弓¹, 小林綾¹, 稲垣真智子¹, 大村峯夫², 小田瑞穂³, 藤井雅彦¹(¹東京顕微鏡院細胞病理診断科, ²こころとからだの元気プラザ婦人科, ³同・ViVi): アルコール再生装置を利用したリサイクル効果の検討. 第 50 回日本臨床細胞学会総会, 東京, 平成 21 年 6 月 28 日.
2. 岡山香里, 大河戸光章, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦¹(¹アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): ASC-US 症例におけるハイリスク HPV-DNA 陽性を示した細胞所見の検討. 第 50 回日本臨床細胞学会総会, 東京, 平成 21 年 6 月 28 日.
3. 山本寛, 大河戸光章, 藤井雅彦, 海野みちる¹, 寺戸雄一¹(¹杏林大・医・病理学): 前立腺腫瘍組織における Androgen Receptor(AR) 染色の免疫組織化学的検討. 第 58 回日本医学検査学会, 横浜, 平成 21 年 7 月 31 日.
4. 山本寛, 関根名里子¹, 西村伸大¹, 東克巳¹, 大河戸光章, 藤井雅彦¹(¹杏林大・保・臨床血液学): 今後の安定した実習材料の確保に向けて—杏林大学における現状と問題点—. 第 4 回日本臨床検査学教育学会, 東京, 平成 21 年 8 月 20 日.
5. 西村信也, 山本寛, 海野みちる¹, 寺戸雄一¹, 岡山香里, 大河戸光章, 藤井雅彦¹(¹杏林大・医・

病理): 抗原賦活液の違いによる前立腺 Androgen Receptor(AR) 免疫染色の検討. 第 4 回日本臨床検査学教育学会, 東京, 平成 21 年 8 月 20 日.

6. 岡山香里, 大河戸光章, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 丸山有子¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦¹(¹アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック): 新たな HPV 感染像について—空胞を有する細胞とは?—. 第 48 回日本臨床細胞学会秋期大会, 福岡, 平成 21 年 10 月 30 日.
7. 中島弘一¹, 石井保吉¹, 栗原達也¹, 岡俊郎¹, 窪田真弓¹, 小林綾¹, 稲垣真智子¹, 大村峯夫², 小田瑞穂³, 藤井雅彦¹(¹東京顕微鏡院細胞病理診断科, ²こころとからだの元気プラザ婦人科, ³同・ViVi): 子宮内膜細胞診の生理食塩水洗浄法における Class I の判定基準. 第 48 回日本臨床細胞学会秋期大会, 福岡, 平成 21 年 10 月 30 日.
8. 山本寛, 大河戸光章, 藤井雅彦, 海野みちる¹, 寺戸雄一¹(¹杏林大・医・病理学): 抗原賦活液 BORG Decloaker の有用性. 第 7 回東京都医学検査学会, 東京, 平成 22 年 3 月 7 日.

運動障害系理学療法学研究室

口演

1. 齋藤昭彦: シンボジウム モビライゼーションと EBPT. 第 44 回日本理学療法学術大会, 東京, 平成 21 年 5 月 29 日.
2. 榎本雪絵: 介護の現場から～家庭でできるリハビリと介護法. 杏会総会, 平成 21 年 6 月 6 日.
3. 齋藤昭彦: マニュアルセラピー (腰椎). 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 大田原, 平成 21 年 7 月 4 - 5 日.
4. 榎本雪絵: 介護予防のしくみとその取り組み. 八王子学園都市大学いちょう塾, 平成 21 年 7 月 13 日.
5. 齋藤昭彦: マニュアルセラピー (頸椎). 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 大田原, 平成 21 年 9 月 5 - 6 日.
6. 齋藤昭彦: 神経系モビライゼーション. 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 大田原, 平成 21 年 10 月 10 - 11 日.
7. 齋藤昭彦: クリニカルリーズニングに基づくマニュアルセラピー. 群馬県理学療法士会臨床講習会, 前橋, 平成 21 年 10 月 25 日.
8. 齋藤昭彦: クリニカルリーズニングに基づくマニュアルセラピー. 宮城県理学療法士会研修会, 仙台, 平成 21 年 11 月 29 日.
9. 村上幸士^{1,2}, 桜庭景植³(¹杏林大・保・運動障害系理学療法学, ^{2,3}順天堂大学大学院・スポーツ健康科学研究科): 超音波診断装置による腹横筋測定 of 再考～筋膜の緊張に着目して～. 第 20 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神戸, 平成 21 年 11 月 14-15 日.
10. 齋藤昭彦: 関節モビライゼーション (下肢). 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 大田原, 平成 21 年 12 月 5 - 6 日.

11. 齋藤昭彦：新しいエクササイズ～神経に注目して運動機能アップ・リハビリも変わる！～. 羽村市ゆとろぎ文化講演会, 羽村市, 平成22年3月7日.

論文

1. 小島やすみ¹, 榎本雪絵 (¹ 特定非営利活動法人リ・ケア福祉サービス): 介護予防のあり方に関する考察—ふれあいミニデイサービスの実態から—. 日本自立支援介護学 2 : 66-74, 2009.
2. 藤尾祐子¹, 榎本雪絵 (¹ 介護老人保健施設ラ・サンテふよう): 介護老人保健施設からの在宅復帰がもたらす社会経済的効果についての研究. 日本自立支援介護学 2 : 84-89, 2009.
3. 小平めぐみ¹, 野村晴美², 井上善行³, 榎本雪絵 (¹ 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院, ² 国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科, ³ マナーハウス南横浜居宅介護支援センター): 特別養護老人ホームの介護の質の向上とチームケアに関する研究 I . 日本自立支援介護学 3 : 116-122, 2010.
4. 榎本雪絵, 木村義徳¹, 玉井直子², 望月秀樹², 竹内孝仁³ (¹ 高崎医療技術福祉専門学校, ² 高齢者リハビリテーション研究所, ³ 国際医療福祉大学大学院): 運動器の機能向上事業参加者の家族介護者における介護負担感について I —事業参加者の介護度の視点から—. 日本自立支援介護学 3 : 124-138, 2010.
5. 野村晴美¹, 小平めぐみ², 井上善行³, 榎本雪絵 (¹ 国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科, ² 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院, ³ マナーハウス南横浜居宅介護支援センター): 特別養護老人ホームにおける肺炎とその予防ケアの実態<研究 I >. 日本自立支援介護学 3 : 156-162, 2010.
6. 齋藤昭彦：神経系に対するモビライゼーション. 理学療法学 36(8):468-471, 2009.
7. 齋藤昭彦：神経系に対する徒手的アプローチのエビデンス. 理学療法 27(3):443-450, 2010.

著書

1. 齋藤昭彦：神経系モビライゼーション. 細田多穂・柳沢健編. 東京, 協同医書, 2010. p59-92.
2. 齋藤昭彦：監訳「神経系モビライゼーション(下肢)」。東京, 医道の日本社, 2010.
3. 齋藤昭彦：メイトランドコンセプト：序論. メイトランド 四肢関節マニピュレーション. 赤坂清和・齋藤昭彦監訳. 東京, 医学映像教育センター, 2010. p1-24.
4. 齋藤昭彦：モビライゼーション/マニピュレーション手技の選択と進行の原則. メイトランド 四肢関節マニピュレーション. 赤坂清和・齋藤昭彦監訳. 東京, 医学映像教育センター, 2010. p171-226.
5. 赤坂清和・齋藤昭彦：肩関節および肩関節複合体. メイトランド 四肢関節マニピュレーション. 赤坂清和・齋藤昭彦監訳. 東京, 医学映像教育センター, 2010. p261-336.

神経発達障害系理学療法学研究室

口演

1. 潮見泰藏：理学療法教育における課題と展望. 第47回理学療法科学学会学術大会, 川越, 平成21年4月19日.
2. 潮見泰藏：寝たきりによる『廃用症候群』とその予防. いちょう塾(八王子学園都市大学), 八王子, 平成21年6月29日.
3. 潮見泰藏：課題指向型介入による理学療法の展開. 理学療法科学学会主催第2回脳卒中講習会, 川越, 平成21年7月4・5日.
4. 潮見泰藏：脳卒中患者に対する標準的理学療法介入. 宮城県理学療法士会神経系定例研修会, 仙台, 平成21年7月11日.
5. 潮見泰藏：臨床実習指導のための教育技法. 日本理学療法士協会主催四国ブロック臨床実習指導者研修会. 松山, 平成21年8月1日.
6. 潮見泰藏：理学療法教育法の現状と課題. 平成21年度視覚特別支援学校理学療法科担当教員講習会, 東京, 平成21年8月4日.
7. 潮見泰藏：標準的理学療法介入—脳卒中における介入. 第23回中国ブロック理学療法士学会, 山口, 平成21年8月30日.
8. 潮見泰藏：脳科学の研究成果に基づく理学療法介入. 東京臨床理学療法研究会第10回大会, 東京, 平成21年9月12日.
9. 潮見泰藏：脳卒中に対する理学療法. 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会(基礎編)三鷹, 平成21年9月13日.
10. 潮見泰藏：脳科学の研究成果に基づくリハビリテーション. 北福島医療センター研修会, 福島, 平成21年11月3日.
11. 潮見泰藏：課題指向型介入による理学療法の展開. 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 川越, 平成21年12月5・6日.
12. 潮見泰藏：課題指向型アプローチ. 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 前橋, 平成22年2月5日.
13. 潮見泰藏：脳卒中患者に対する標準的理学療法介入. 東京都リハビリテーション病院研修会, 東京, 平成22年2月16日.
14. 潮見泰藏：教育ガイドラインに基づく臨床実習の展開. 北海道ブロック臨床実習指導者研修会, 札幌, 平成22年3月6日.
15. 中野 尚子¹, 加藤 正晴², 小西 行郎² (¹ 杏林大・保・神経発達障害系理学療法学, ² 同志社大学赤ちゃん学研究センター): アテトーゼ型脳性麻痺児における姿勢運動障害と視覚機能の関連性. 第44回日本理学療法学術大会, 東京, 平成21年5月28-30日.
16. 中野 尚子：超・極低出生体重児における fidgety movements(GMs) 評価と3歳時の発達予後の関係. 第8回行動発達研究会, 東京, 平成21年7月25日.
17. 中野 尚子：Bobath 治療における発達視点. 平成21年度8週間脳性麻痺児 Bobath 講習会, 東京,

平成 21 年 7 月 30 日

18. 中野尚子：新生児の評価 general movements(GMs). 理学療法士講習会「NICUにおける理学療法」. 安曇野市, 平成 21 年 9 月 19-21 日.
19. 中野尚子：赤ちゃん運動—正常姿勢運動発達—. 産経新聞/赤ちゃん学会主催 新赤ちゃん学入門講座, 東京, 平成 21 年 12 月 5 日
20. 中野尚子：理学療法士講習会「脳性麻痺の評価と治療」. 東京, 平成 21 年 12 月 17 日
21. 中野尚子：正常姿勢運動発達. お茶の水女子大学附属いずみナーザリー保育研究会, 東京, 平成 22 年 2 月 27 日

論文

1. 潮見泰藏, 今井 樹：脳卒中に対する理学療法機器活用の現状と課題. 理学療法, 25(4) : 475-480, 2009
2. 潮見泰藏：標準的理学療法介入—脳卒中に対する介入 第 23 回中国ブロック理学療法士学会学会誌 10-16, 2009
3. 木原秀樹¹, 中野尚子² (¹長野県立こども病院リハビリテーション科, ²杏林大・保・神経発達障害系理学療法学)：早産・低出生体重児のより良い発達を支援するために. ベビーサイエンス 09 : 2-14, 2009

著書

1. Jung Sun Hong (著), 紀伊克昌 (監訳), 中野尚子¹, 金子断行, 新保松雄 (翻訳) (¹杏林大・保・神経発達障害系理学療法学)：正常発達 脳性麻痺治療への応用, 三輪書店, 2010

その他

1. 中野尚子 (杏林大・保・神経発達障害系理学療法学)：行動発達研究会設立記念第 8 回研修会企画・開催, 東京, 平成 21 年 7 月 25 日

内部障害系理学療法学研究室

口演

1. 林大二郎¹, 八並光信, 湯藤裕美¹, 沼波香寿子¹, 松浦芳和¹, 澤田絵里佳¹, 伊藤晃範², 鷲頭由宜², 坂田雪絵¹, 笠井正晴¹, 内田学³ (¹札幌北楡病院・理学診療科, ²開成病院・理学診療科, ³健康科学大学)：血液疾患患者における抗がん剤が身体機能に及ぼす影響. 第 44 回日本理学療法学会大会, 東京, 平成 21 年 5 月 28-30 日
2. 八並光信：家庭でできるリハビリテーションの実際, 八王子都市大学いちょう塾, 八王子, 平成 21 年 7 月 6 日
3. 林大二郎¹, 湯藤裕美¹, 沼波香寿子¹, 澤田絵里佳¹, 中村唯香¹, 長尾栄子¹, 伊藤晃範², 鷲頭由宜², 松浦芳和² (¹札幌北楡病院・理学診療科, ²開成病院・理学診療科), 八並光信：悪性リンパ腫患者に対する化学療法の身体影響と理学療法効果について. 第 30 回札幌市病院学会, 札幌市, 平成 22 年 2 月 2 日
4. 小宮山一樹¹, 上迫道代¹, 八並光信, 石川愛子², 辻哲也³, 里宇明元³, 相佐好伸⁴, 森毅彦⁴, 岡本真一郎⁴ (¹慶應義塾大学病院・リハ科, ²慶應義

- 塾大学・大学院・医学研究科, ³慶應義塾大学・医・リハ医学, ⁴慶應義塾大学・医・血液内科)：当院の同種造血幹細胞移植患者における呼吸循環機能変化と理学療法効果の検討. 第 32 回日本造血幹細胞移植学会, 浜松市, 平成 22 年 2 月 19-20 日
5. 上迫道代¹, 小宮山一樹¹, 八並光信, 石川愛子², 辻哲也³, 里宇明元³, 相佐好伸⁴, 森毅彦⁴, 岡本真一郎⁴ (¹慶應義塾大学病院・リハ科, ²慶應義塾大学・大学院・医学研究科, ³慶應義塾大学・医・リハ医学, ⁴慶應義塾大学・医・血液内科)：同種造血幹細胞移植患者の移植前後の筋力変化からみた理学療法効果の検討. 第 32 回日本造血幹細胞移植学会, 浜松市, 平成 22 年 2 月 19-20 日